

令和4年度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書



令和5年8月

庄原市教育委員会

はじめに

本市では、「美しく輝く里山共生都市～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～」を将来像として掲げ、まちづくりを進めています。

教育委員会では、教育の理念を「ふるさとの学びを原動力として高い志を持ち続け活躍できる人材の育成」としています。子供も大人もふるさとの学びや体験を通して、「主体的に学び、グローバル社会をたくましく生き抜く人材」「庄原市の将来を担うとともに国際舞台においても活躍できる人材」「社会に貢献し新しい時代を築いていく人材」の育成を目指し、活気と潤いのある「学びと誇りが実感できるまちづくり」に取り組んでいます。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、毎年、前年度に実施した業務や事業について教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を報告書にまとめ、市議会に提出し公表しているものです。

なお、この点検及び評価にあたって、庄原市教育事務評価検討委員設置要綱に基づき、教育に関し学識経験等を有する方々を当委員会委員として、多角的な視点・観点からの貴重なご意見やご助言をいただいています。

今後とも、課題や取り組みの方向性を明らかにし、信頼される教育行政の推進を図るとともに、市民の皆様への説明責任を果たし、教育行政の一層の充実に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庄原市教育委員会

目 次

I	教育行政施策の点検・評価の概要	
1	目的	1
2	点検・評価の対象及び実施について	1
3	点検・評価の判断基準	2
II	「令和4年度教育行政施策の方針」に基づく点検及び評価の結果	
	点検・評価の結果一覧	3
	学校教育	
1	学校教育の充実	
(1)	確かな学力の定着・向上	6
(2)	豊かな人間性の育成	10
(3)	健康・体力の保持・増進	14
(4)	今日的課題への対応	18
(5)	教職員の資質向上	23
(6)	学校教育環境の充実	26
	生涯学習	
2	生涯学習・社会教育の充実	
(1)	学習機会の提供	33
(2)	学習活動の支援	36
(3)	読書環境の充実	39
3	芸術・文化の推進	
(1)	芸術・文化活動の推進	41
(2)	文化財の保存・活用	46
(3)	博物館・資料館の活用	50
4	スポーツの推進	
(1)	スポーツ活動の推進	57
(2)	スポーツ環境の充実	62
	家庭・地域の教育	
5	家庭・地域の教育力の向上	
(1)	教育風土の醸成	65
(2)	家庭・地域と一緒に取り組む教育活動	67
III	教育委員会委員の活動状況	
1	庄原市教育委員会委員	70
2	教育委員会議の開催状況	70
3	教育委員会議の議決案件及び主な報告・協議事項	71
4	教育委員会議以外の活動状況	73
IV	教育事務評価検討委員の意見	
1	庄原市教育事務評価検討委員	74
2	点検及び評価の結果に関する意見	74

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

第26条（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育行政施策の点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、本市教育行政の推進に資するとともに、市民に対する責任を果たすことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び実施について

令和4年度の点検・評価については、「庄原市長期総合計画」に掲げる教育・文化に関する基本計画に基づいて、教育委員会が策定した「令和4年度教育行政施策の方針」により、重点施策として取り組んだ施策及び事務事業について、点検・評価を実施しました。

学校教育の分野では、「ふるさとを愛する心を持ち、主体的に学び続ける児童生徒の育成」をテーマに、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指した主体的な学びの教育活動の推進、児童生徒の自尊感情や規範意識の高揚、健康で活力ある態度を養う教育の充実、学校・家庭・地域が一緒になった児童生徒の育成に向けて、「確かな学力の定着・向上」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の保持・増進」「今日的課題への対応」「教職員の資質向上」「学校教育環境の充実」を柱として取り組んだ25項目を対象としています。

生涯学習の分野では、「豊かな心を持ち主体的に学び続ける人づくり・地域づくり」をテーマに、市民一人一人が生涯にわたり主体的に学び、その成果を社会参加に反映できるように、また、人と人、人と地域、地域と地域が確かな絆で結ばれた地域社会の実現ができるように、「学習機会の提供」「学習活動の支援」「読書環境の充実」「芸術・文化活動の推進」「文化財の保存・活用」「博物館・資料館の活用」「スポーツ活動の推進」「スポーツ環境の充実」を柱として取り組んだ25項目を対象としています。

さらに、家庭・地域の教育力の分野では、「学校・家庭・地域の連携」をテーマに、子供の育ちを支える地域や学校、関係者が子供としっかり向き合い、子供の心に寄り添いながら、一緒になって子供を育てるように、「教育風土の醸成」「家庭・地域と一緒に取り組む教育活動」を柱として取り組んだ5項目を対象としています。

点検及び評価の充実を図るため、学校教育関係者、社会教育関係者、有識者等による庄原市教育事務評価検討委員を設置し、点検及び評価の内容について調査及び検討を行っていただくとともに、同委員と教育委員会委員が一堂に会し、点検・評価結果に関する意見交換会を開催し、本市教育行政に対する意見や助言等をいただいています。

3 点検・評価の判断基準

点検・評価にあたっては、「令和4年度教育行政施策の方針」に掲げた重点施策の体系に従い、項目ごとに【取り組み・実績】【成果・効果】【課題・対応】について整理するとともに、併せて、「事業の成果」「方向性」の各観点から個別点検を行い、次の基準に従ってそれぞれの評価指標を提示しています。

1 事業の成果

評 価	判 断 基 準
A	施策や事業の目的・目標が十分に達成された
B	施策や事業の目的・目標に対して、概ね達成された
C	施策や事業の目的・目標に対して、達成状況は低かった

2 方向性

評 価	判 断 基 準
拡大継続	事業効果が高いため、さらに事業を拡大または充実して継続すべきである
継 続	事業効果が認められるため、継続すべきである
縮小・休止	事業を縮小または休止すべきである
完了・終了	当該年度をもって、計画または予定どおり事業が完了（終了）した

Ⅱ 「令和4年度教育行政施策の方針」に基づく点検及び評価の結果

点検・評価の結果一覧

施策の分野	施策の基本方針	主な取り組み	点検・評価の結果		ページ
			事業の成果	方向性	
1 学校教育の 充実	(1) 確かな学力の定着・ 向上	①主体的に学び考える教育の推進	B	継 続	6
		②読書活動の推進	A	継 続	7
		③外国語教育（活動）の推進	B	継 続	9
	(2) 豊かな人間性の育成	①道徳教育の充実	B	継 続	10
		②生徒指導の充実	B	拡大継続	11
		③体験活動の充実	B	継 続	12
		④芸術教育の充実	B	継 続	13
	(3) 健康・体力の保持・ 増進	①心身の健康保持増進	B	継 続	14
		②安全教育の推進	B	継 続	15
		③食育の推進	B	継 続	16
		④体力づくりの充実	B	継 続	17
	(4) 今日の課題への対応	①情報化に対応した教育の充実	B	拡大継続	18
		②社会的自立に向けた教育の推進	B	拡大継続	19
		③特別支援教育の充実	B	継 続	20
		④幼保小中連携の推進	B	拡大継続	21
		⑤県立学校との連携の推進	B	継 続	22
	(5) 教職員の資質向上	①教職員の人材育成	B	継 続	23
		②教職員の服務管理の徹底	C	継 続	24
		③学校における働き方改革の推進	B	継 続	25
	(6) 学校教育環境の充実	①学校運営支援組織の充実	B	継 続	26
		②就学支援制度の充実	B	継 続	27
③学校施設・設備の充実		B	継 続	29	
④遠距離通学児童生徒への支援		B	継 続	30	
⑤学校給食の充実		A	継 続	31	
⑥学校の適正規模・配置の推進		C	継 続	32	

施策の分野	施策の基本方針	主な取り組み	点検・評価の結果		ページ
			事業の成果	方向性	
2 生涯学習・社会教育の充実	(1)学習機会の提供	①各種講座等の充実	B	継続	33
		②人権教育の推進	B	継続	34
		③地域課題等に対する学習活動の推進	B	拡大継続	35
	(2)学習活動の支援	①自治振興区における生涯学習の推進	B	継続	36
		②社会教育関係団体等の育成・支援	B	継続	37
		③生涯学習情報の収集及び発信	B	拡大継続	38
	(3)読書環境の充実	①図書館機能の充実	A	継続	39
		②子供の読書活動の推進	A	拡大継続	40
	3 芸術・文化の推進	(1)芸術・文化活動の推進	①芸術・文化意識の高揚	B	拡大継続
②文化団体等の支援			B	継続	43
③芸術・文化施設の活用促進			B	拡大継続	44
(2)文化財の保存・活用		①文化財の保護・管理の推進	B	継続	46
		②文化財の活用推進	C	継続	47
		③文化財の継承・啓発	B	継続	48
		④埋蔵文化財への対応	B	継続	49
(3)博物館・資料館の活用		①博物館・資料館機能の充実			
		ア 庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に基づく各種事業の推進	B	継続	50
		イ 比和自然科学博物館・地学分館の管理・運営	A	継続	51
		ウ 帝釈峡博物展示施設時悠館（帝釈峡まほろばの里含む）の管理・運営	A	継続	52
		エ 庄原市歴史民俗資料館（火野葦平と母マン資料室、西城・総領収蔵学習室含む）の管理・運営 オ 倉田百三文学館の管理・運営	B	継続	53
		カ 口和郷土資料館の管理・運営	B	拡大継続	54
		②連携・啓発事業の展開	B	継続	55

施策の分野	施策の基本方針	主な取り組み	点検・評価の結果		ページ
			事業の成果	方向性	
4 スポーツの推進	(1)スポーツ活動の推進	①地域スポーツの推進	B	拡大継続	57
		②スポーツ団体の育成・支援	B	継続	58
		③総合型地域スポーツクラブの展開	B	継続	59
		④競技力向上・ジュニアスポーツの推進	B	継続	60
		⑤障害者スポーツへの支援	B	継続	61
	(2)スポーツ環境の充実	①社会体育施設の利用促進	B	継続	62
		②学校体育施設の活用	B	継続	63
		③学校・家庭・地域のネットワークづくり	B	継続	64
	5 家庭・地域の教育力の向上	(1)教育風土の醸成	①地域社会に貢献できる人材の育成	B	継続
②地域理解を深める教育活動の推進			B	継続	66
(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		①家庭の教育力の向上	B	拡大継続	67
		②地域の教育力の向上	B	拡大継続	68
		③放課後の子供の育成	B	継続	69

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)確かな学力の定着・向上		
主な取り組み	①主体的に学び考える教育の推進		
取り組み・実績			
<p>○個に即した指導の充実と学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事が各学校の校内研修に参加し、児童生徒の学力の定着に向けた授業づくりや授業と家庭学習との関連を充実させるための指導講話を実施した。 ・広島県教育委員会実施の「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業」指定校における校内研修に参加し、学力の定着に向けた授業づくりや個別指導体制等について指導助言を行った。 ・「庄原市『学びの変革』推進協議会(第3回2/24)」において、指定校が低学年からのつまずきを解消するための取り組みなどの研究内容を報告した。 <p>○主体的・対話的で深い学びに係る授業改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「庄原市『学びの変革』推進協議会(第1回7/12、第2回8/3、第3回2/24)」において、「本質的な問い」による授業改善及びカリキュラム・マネジメントを視点にした研究授業の研修を実施した。 ・指導主事が各学校の校内研修に参加し、主体的な学び、深い学びに向けて、教科等の見方・考え方を働かせる授業づくりについての指導講話を実施した。 <p>○読解力・表現力を培う教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、書いて表現する活動、考えたことを話し合う活動などの言語活動を設定し、判断の根拠や理由を明確にして自分の考えを表現する学習活動の充実を図った。 ・多くの児童生徒がコンクール等に応募することにより、自分の考えを表現することに取り組んでいる。詩文集「さとやま」では、第一部門（報告文・記録文）、第二部門（生活文・体験文）、第三部門（短歌・俳句・詩）、第四部門（読書感想文）への応募を呼びかけ、市内全校が積極的に参加した。 			
成果・効果			
<p>○令和4年度庄原市一斉学力調査では、小学校・中学校とも各教科においてほぼ全国平均を上回り、学習内容は概ね定着している。</p> <p>○令和4年度全国学力・学習状況調査では、小学校国語科・算数科、及び中学校国語科・理科では全国平均、県平均を上回り、学習内容は概ね定着している。</p> <p>○教科等の見方・考え方を意識した指導ができてきている。</p> <p>○「本質的な問い」による授業改善について、取り組みが充実している学校の授業研究や単元構想シートを用いた交流を通して各学校に意識付けを行うことができた。</p> <p>○中国新聞主催「鈴木三重吉賞」では、入賞作品が78点あり、表現する力の向上が見られる。</p>			
課題・対応			
<p>○令和4年度全国学力・学習状況調査の結果、中学校数学科では、県平均とは同程度であるが、全国平均を下回っており、各学校において課題の分析、具体的な取り組みの検討を行い、授業改善を進める必要がある。</p> <p>○令和4年度庄原市一斉学力調査の結果、正答率30%未満の児童生徒が一定程度存在している。低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業の取り組みを他校へ広げ、個のつまずきの要因分析と組織的な手立てを行っていく必要がある。</p>			

<p>○各学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、そのつまずきの背景を分析し手立てを考えるなど、組織的な取り組みとなるよう指導していく必要がある。</p> <p>○単元を通して付けたい力の具体が明確になっていない学校もある。引き続き、校内研修や市主催研修会において研修を深めていく必要がある。</p>	
事業の成果	方向性
B	継 続

学 校 教 育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1) 確かな学力の定着・向上		
主な取り組み	② 読書活動の推進		
取り組み・実績			
<p>○読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「庄原の子供はいつも今読んでいる本がかばんに入っている」を合言葉に読書活動を推進してきており、朝読書をはじめ、機会を見つけて読書する習慣の定着を図っている。 <p>○学校司書と連携した学校図書館活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書10名を配置し、学校図書館の環境整備、学校図書館を活用した授業づくりの推進を図った。 ・学校司書打ち合わせ会では、環境整備や読書活動推進のための取り組みの交流など、学校司書のニーズに応じた内容とした。 ・学校司書打ち合わせ会には市内図書館担当者も可能な限り参加することとし、参加できない場合も資料提供するなどして、学校と地域の図書館の連携を図った。 ・「庄原市学校図書館研修会(7/1)」において、高小学校の実践発表と、各校の読書活動推進に向けた実践交流を行い、各校の読書活動推進取り組みの充実を図った。 <p>○ビブリオバトル、ブックトーク等を通じた読書活動の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、ビブリオバトルやブックトーク、読書祭り等を工夫して実施した。 ・詩文集「さとやま」における第四部門(読書感想文)への応募を呼びかけた。 			
成果・効果			
<p>○読書習慣が定着しつつある。(1ヵ月に3冊以上本を読んでいる児童生徒の割合 小学校68.1%(県平均比率プラス12.0ポイント)、中学校28.5%(県平均比率プラス1.9ポイント))</p> <p>○学校司書を10名配置することにより、学校図書館の環境整備が進められている。</p> <p>○学校司書や読書ボランティアだけでなく、教師や児童生徒による読み聞かせなどの読書活動の推進が図られてきている。</p> <p>○学校司書と連携して学校図書館を活用した授業に取り組んでいる。</p> <p>○すべての学校で「子ども読書の日」や「古典の日」に関連した読書の取り組みや行事を行っている。</p>			

<p>○各学校において、児童生徒によるビブリオバトルや本の紹介、学校司書や読書ボランティアと連携した読書祭りなど、工夫した取り組みが実施されている。</p> <p>○庄原小学校が、学校図書館整備、子供司書の活動等、読書活動推進の取り組みを評価され、令和5年度子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受賞した。</p>	
<p>課題・対応</p>	
<p>○学校図書館担当教諭、学校司書のさらなるスキル向上に向け、打ち合わせ会の内容、研修内容を工夫する。</p> <p>○子供の読書活動に係る学校と地域の連携推進に向け、学校司書と市立図書館担当者が合同参加の研修を定期的実施する。</p> <p>○図書標準を満たしていない学校があり、蔵書の中でも図鑑や百科事典等が古いなどの課題も見られ、図書整備が急務である。</p> <p>○ビブリオバトルやブックトーク等を各学校の読書活動における計画に位置付け、継続した取り組みとなるよう働きかける。</p>	
<p>事業の成果</p>	<p>方向性</p>
<p>A</p>	<p>継 続</p>

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)確かな学力の定着・向上		
主な取り組み	③外国語教育（活動）の推進		
取り組み・実績			
<p>○児童生徒の英語力向上に向けた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回外国語教育研修会（7/8）」は、小学校の研究授業を通して、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた指導方法の在り方について研究を深めた。 ・「第2回外国語教育研修会（10/17）」は、中学校の研究授業を通して、英語科における言語活動を充実させるためのICTの効果的な活用について、協議・演習を行った。 ・小学校教諭を対象に、授業で活用できるクラスルームイングリッシュ等について学ぶ講座「Talk!Talk!Talk!」を年間6回実施した。 <p>○外国語に対する学習意欲を高める取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原市英語検定料補助金について各中学校に周知し、94名、合計310千円の補助金を交付した。 ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「中学生による英語スピーチ大会（6/12）」と「イングリッシュ・キャンプ（8/5）」を実施した。「中学生による英語スピーチ大会」には14名、「イングリッシュ・キャンプ」には17名の生徒が参加した。 ・希望する学校へALTを複数名配置する「ALT複数配置」を小学校3校、中学校3校で実施した。 <p>○コミュニケーションの目的や場面を明確にした言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の授業において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明確に設定し、その設定を児童生徒が理解した上で、外国語で表現し合う活動の充実を図った。 			
成果・効果			
<p>○学習指導要領やICTの効果的な活用を踏まえた指導の在り方について研修を深めることができ、外国語教育の充実につながっている。</p> <p>○感染症対策を講じながら「英語スピーチ大会」や「イングリッシュ・キャンプ」を実施し、生徒が学習したことを実践する機会を設けることで、外国語に対する学習意欲の向上につながっている。（「イングリッシュ・キャンプや英語のイベントにまた参加したい」の肯定的回答94.1%）</p>			
課題・対応			
<p>○言語活動や「言語活動を通した」指導の充実や小・中学校の接続を重視し、学びの連続性を意識した指導の充実を図る必要がある。</p> <p>○市内中学校第3学年生徒の50%以上が3級以上を取得できるよう、英語検定補助金制度の周知を繰り返し行い、利用率を上げる。</p> <p>○児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、学習したことを実践する機会を確保していく。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(2)豊かな人間性の育成		
主な取り組み	①道徳教育の充実		
取り組み・実績			
<p>○「特別の教科 道徳」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会（6/21）」において、道徳教育推進教師の役割、道徳科における評価などについて研修を実施した。 ・「第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会（1/27）」において、実際の授業を通して、道徳教育の充実を図るための講話・演習を実施した。 ・市主催研修会では、研修内容に校内研修で活用できる演習を取り入れ、各学校の道徳教育推進教師の取り組みの参考となるよう支援した。 ・各学校において道徳教育に係る研修を積極的に実施するよう、校長会議を通して研修の依頼を行った。 			
成果・効果			
<p>○研修において、評価における留意すべき事項について周知するとともに、研修資料を提供することで、道徳教育推進教師が各学校で研修の還元を行うことができた。</p> <p>○授業参観を通して、「考え、議論する道徳」となる授業づくりについて協議を行った。話し合いにおいて、「深い学びの鍵はどこか」というキーワードをもとに協議することで、指導観や授業観の向上を図った。</p>			
課題・対応			
<p>○各学校の評価の実情が十分把握できていない。</p> <p>○児童生徒が「考え、議論」し、道徳的価値を深める意見交流を行う授業を行うために、引き続き授業づくりについて研修を深める必要がある。</p> <p>○授業参観が令和3年度・4年度と小学校が続いているため、中学校での授業を計画し、人材育成を図る。</p> <p>○道徳推進教師の機能化に向け、担当としての年間の活動計画を作成した。取り組みの充実を図るため、継続して活動計画の作成や見直しを進めていく。</p> <p>○教科や行事等、様々な機会と関連させたカリキュラム・マネジメントの視点での授業づくりについて指導を継続していく。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(2)豊かな人間性の育成		
主な取り組み	②生徒指導の充実		
取り組み・実績			
<p>○生徒指導上の諸問題への取り組みに向けた組織体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「庄原市学校・警察連絡協議会(第1回6/28、第2回12/7)を実施し、庄原警察署や北部こども家庭センターを中心とした関連機関との連携、いじめや不登校児童生徒に係る事例検討などを通して研修を深めた。また、「組織的な生徒指導体制の確立に向けて」、「スクールサポートルームの取り組みを通じた不登校生徒への対応について」と題した実践発表を行った。 ・定例校長会議において、生徒指導体制の確立に係る指導助言を行った。 ・生徒指導サポート実践校への訪問指導を学期に2回行った。 ・状況に応じて積極的に学校へ行き、生徒指導上の課題や不登校児童生徒の対応について、指導・助言を行った。 ・いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取り組みとして、各学校で学期に1回以上のいじめアンケートを実施した。 ・学校教育専門員、教育交流教室「つばさ」指導員による不登校及び不登校傾向の児童生徒に係る対応・支援を行った。 ・スクールカウンセラーの活用により、児童生徒及び保護者、教職員からの教育相談体制の充実や、専門的な視野からの児童生徒の実態把握を図った。 ・スクールソーシャルワーカーによる児童生徒及び保護者への対応を行った。 			
成果・効果			
<p>○定例校長会議や学校訪問指導を通して、各学校の生徒指導規程に基づいた指導等について助言することにより、組織的な生徒指導体制の確立を図った。</p> <p>○各学校が積極的にいじめとして認知することにより、早期対応、解決につながるとともに、安全・安心な学校風土が生まれている。</p> <p>○学校教育専門員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による教職員及び不登校及び不登校傾向の児童生徒への指導・支援により、個に応じた指導や教育相談体制が改善されている。</p> <p>○市社会福祉協議会や主任児童委員、SCHOOL“S”など、これまで連携が十分ではなかった関係機関と連携を深めることができた。</p>			
課題・対応			
<p>○暴力行為が発生した要因として、児童生徒が感情や行動のコントロールができていないことが挙げられる。引き続き、社会で許されないことは学校でも許されないといった毅然とした指導と特別支援教育の視点を踏まえた指導が必要である。</p> <p>○教職員の意識をより高めるために、継続していじめや不登校の未然防止の取り組みについて、研修を行う必要がある。</p> <p>○不登校児童生徒数は増加傾向にあり、不登校児童生徒に対してICTを活用する、関係機関を学校に周知・紹介するなどして、学習する機会を提供する必要がある。</p>			

○不登校の主な要因として、怠学傾向や対人関係の問題、家庭の教育力、学力の問題が挙げられる。保護者及び関係機関との連携により、段階的・継続的な学校復帰に向けた支援が必要である。また、新たな不登校児童生徒を生まない取り組みが必要である。	
事業の成果	方向性
B	拡大継続

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(2)豊かな人間性の育成		
主な取り組み	③体験活動の充実		
取り組み・実績			
<p>○豊かな人間性や社会性の育成に向けた自然・生活体験活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山・海・島」体験活動については、計画をしていた小学校12校のうち7校が新型コロナウイルス感染症対策のため日数や場所を変更し、実施した。5校は計画通り2泊3日で実施した。 ・庄原市学校体験活動補助事業により、宿泊を伴わない体験活動に対しても支援を行い、活動の充実を図った。 			
成果・効果			
<p>○各学校とも、体験を通して育成したい力やねらいを明確にした取り組みを行い、多くの学校で、児童の主体性や協調性などの向上が見られた。</p> <p>○各学校とも、事後指導においても日常生活と関連付けた取り組みを行っている。</p> <p>○日帰りを含む体験活動に対して補助金を交付したことにより、保護者の負担軽減を図ることができた。</p>			
課題・対応			
<p>○天候等や新型コロナウイルス感染症による安全面への配慮から、日数の削減や内容の精査をした学校が多くあった。引き続き、猛暑等への対策など、児童の健康面・安全面にも配慮した工夫を検討し、実施していく必要がある。</p>			
事業の成果	方向性		
B	継続		

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(2)豊かな人間性の育成		
主な取り組み	④芸術教育の充実		
取り組み・実績			
<p>○感性を高め、豊かな情操を養う芸術・文化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中学校合唱コンクール」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。 ・総合的な学習の時間等で郷土文化を学習し、体育祭や文化祭の場で発表した学校があった。 ・地域の伝統文化である太鼓や田楽を学習し、運動会で発表した学校があった。 ・弦楽四重奏の演奏を聴く芸術鑑賞会を開催した学校があった。 			
成果・効果			
<p>○地域の方をゲストティーチャーとして招き、太鼓や田楽、音頭など地域の伝統文化を学習する取り組みを行っている学校がある。</p> <p>○マスク着用、グラウンドでの発表、体育館で距離を取って演奏、規模の縮小などの感染症対策を講じながら、表現の場を確保するための工夫を行っている学校がある。</p>			
課題・対応			
<p>○「中学校合唱コンクール」について、新型コロナウイルス感染に配慮した実施方法を協議していく必要がある。</p> <p>○本市では児童生徒が伝統や文化に触れる機会が多い。これらの体験を活用して、児童生徒が感性や表現する力を高める指導の工夫が必要である。</p> <p>○部活動の地域移行について協議する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(3)健康・体力の保持・増進		
主な取り組み	①心身の健康保持増進		
取り組み・実績			
<p>○家庭と連携したアウトメディア等の取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「庄原市学校・警察連絡協議会（第1回 6/28、第2回 12/7）」を実施し、庄原市におけるスマートフォン等に係る問題行動等の現状と課題について、警察が講話を行った。 <p>○喫煙・飲酒・薬物乱用防止等の取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止等に関わり、学校が学校薬剤師、外部団体等と連携したり、デジタル機器を活用したりして、児童生徒の実態に応じた指導を行った。 ・庄原市歯科衛生連絡協議会の事業として、希望した小中学校に歯みがき指導を実施した。歯みがき指導の充実に向けて、庄原市学校保健会では歯みがきの仕方の模型として「歯みがきパペット」「歯みがき指導顎模型」「人工プラーク」を購入し、各校での活用を推進した。 <p>○新型コロナウイルス感染症対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について、国や県からの最新の情報収集を行い、本市の対応について学校へ迅速に周知し、適切な対応に努めた。 			
成果・効果			
<p>○庄原市学校・警察連絡協議会は、少年非行やスマートフォン等の現状について知る機会となり、小中高等学校が連携した取り組みの充実につながっている。</p> <p>○SNS等を中心としたトラブルについて、警察と連携しながら取り組むことができた。</p> <p>○歯科衛生連絡協議会において、学校歯科医、歯科衛生士、行政担当者等が取り組みや感染症対策等の課題について協議する場があり、実態に応じた取り組みが進められている。</p> <p>○国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策に係る物品を購入して各学校へ配付した。</p>			
課題・対応			
<p>○スマートフォン等の利用について、継続した啓発が必要である。</p> <p>○コロナ禍で歯みがき指導の充実が難しい実態があったため、感染症対策と教育活動を両立させながら、今後も歯科衛生指導の充実に向けた取り組みを継続する必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが、令和5年5月以降5類感染症に変更となったが、今後も感染症対策と教育活動の両立を図るため、必要な対応を継続する必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学 校 教 育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(3)健康・体力の保持・増進		
主な取り組み	②安全教育の推進		
取り組み・実績			
<p>○危機管理意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理、安全教育の充実に向けて、定例校長会議で周知を図ったり、時期に合わせた市教委独自の通知を送付したりした。 ・各学校において、交通安全教室や防犯教室、避難訓練などを実施し、日常生活において、危険を予測し回避するための指導を行った。 			
成果・効果			
<p>○安全教育に係る通知は、定例校長会議でも再度周知し、安全教育の推進を図っている。</p> <p>○規模の縮小や実施方法の変更など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた交通安全教室を実施するなど、各学校で工夫しながら安全教育への取り組みが進められた。</p>			
課題・対応			
<p>○県からの通知だけでは、中山間地域の実情に合わない内容もあるため、積雪時の登下校や学校生活における安全確保についてなど、地域実態に即した通知を今後も独自に作成し、発出していく必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(3)健康・体力の保持・増進		
主な取り組み	③食育の推進		
取り組み・実績			
<p>○望ましい食習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、食に関する指導の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的に食育に取り組んだ。 ・各学校において、食に関する実態調査、食事のマナー学習を実施した。 ・小学校9校、中学校3校が「弁当の日」を設定し、児童生徒が自分で弁当作りを行った。 <p>○令和4年度は食育研修会を実施し、本県及び本市の食育の現状と取り組みの推進について講話を行った。また、各学校の、コロナ禍の食育推進の取り組みや工夫について交流を行った。</p>			
成果・効果			
<p>○食に関する実態調査の結果、「栄養バランスの大切さ」「食事マナーの大切さ」を理解していると回答した児童生徒の割合がそれぞれ96%、94%、「バランスの良い朝食をとる大切さ」を理解していると回答した児童生徒の割合は92%であったことから、食に対する関心は高い水準を維持している。</p> <p>○「弁当の日」の取り組みの一環として、弁当の写真を掲載した食育カレンダーを毎年作成している学校もある。</p>			
課題・対応			
○各学校が、栄養教諭の取り組みや食育の取り組みについて参考にできるよう、県内の動向等についても周知する。			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(3)健康・体力の保持・増進		
主な取り組み	④体力づくりの充実		
取り組み・実績			
<p>○体力・運動能力の向上を図る組織的取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第27回庄原市小学校陸上競技記録会(6/18)」及び「第57回庄原市少年少女水泳記録会(7/29)」を開催した。対象学年や出場種目を制限するなど、規模を縮小して実施した。 ・「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和4年度広島県児童生徒の体力・運動能力調査」を実施し、市の経年の推移とともに、体力における重点となる課題を示した。 ・「庄原市体力づくり研修会(5/17)」を実施し、県の方針である「児童生徒の生涯にわたる運動習慣の確立のため、運動やスポーツが『好き』と答える児童生徒の増加を目指すこと」について周知するとともに、そのための取り組み等について演習を通して周知した。 			
成果・効果			
<p>○庄原市で開催された陸上記録会へは130名、水泳記録会へは36名、広島県民スポーツ大会へは43名の児童が参加した。市内全ての小学校から参加があり、体力向上に向けた取り組みのきっかけとなった。</p> <p>○研修会において、市の現状課題である「走力」に関する演習を実施し、各校での指導の参考となった。</p>			
課題・対応			
<p>○「広島県児童生徒の体力・運動能力調査」では全学年における調査は実施されないが、市全体の実態把握として小中学校全学年の「体力・運動能力調査」を実施し、本市児童生徒の実態を継続的に把握する。</p> <p>○記録会への参加者を増やすため、対象学年や出場競技等の制限をコロナ禍前に戻し、積極的な参加を促す。</p> <p>○各学校において、走力に重点を置いた取り組みを行うために、研修会時に各校の実践交流を実施する。</p> <p>○児童生徒が「運動が好き」と感じられるゲームの要素を授業に取り入れる。</p> <p>○部活動の地域移行について協議する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	①情報化に対応した教育の充実		
取り組み・実績			
<p>○情報活用能力の向上と情報モラル教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回庄原市情報教育研修会(5/25)」において、ICT活用に係る市の実態及び今後の予定についての講話・演習を行った。 ・「第2回庄原市情報教育研修会(8/24)」において、タブレット端末の効果的な活用及びNetモラルの活用について講話・演習を行った。 ・「第3回庄原市情報教育研修会(2/17)」において、プログラミング教材「ミライキッズ」の紹介、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた取り組みについて交流・演習を行った。 ・ICT活用推進リーダー3名とパネルディスカッション形式で各校の実践や意見の交流を行った。 ・各学校からICTを活用した実践事例を集めた「ICTBook」を作成した。 			
成果・効果			
<p>○学期ごとに、タブレット端末の利活用状況についてアンケートを実施した。利活用状況を把握したうえで、研修内容を計画することができた。</p> <p>○オンラインでネットモラルの学習ができる環境を整備した。</p> <p>○市に導入しているソフトの業者に、研修に参加していただくことで、業者と学校の担当者がつながり、業者と連携した校内研修を実施することができた。</p> <p>○各学校において、「ICTBook」により、ICTを効果的に活用した授業実践を参考にすることができた。</p>			
課題・対応			
<p>○学校によっては、ネットワークの脆弱さによるインターネット接続の難しさなど、整備面での課題があり、関係課と対応について協議している。</p> <p>○情報モラルは、今日的な大きな課題である。道徳科や他の教育活動の年間指導計画に位置付けて、確実に指導するよう工夫する必要がある。</p> <p>○タブレット端末の活用実践は増えているが、効果的な活用、とりわけ、協働的な学習場面での利活用の意識の向上が必要である。</p> <p>○今後、ICTの利用が進む中、学校間・指導者間の力量の違いが広がってくることが考えられる。児童生徒の情報活用能力育成に向け、ICTの利用方法や効果的な活用についての研修を充実させる。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	②社会的自立に向けた教育の推進		
取り組み・実績			
<p>○幼保小中高等学校の連携による系統的なキャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育の円滑な接続を目指し、庄原市幼保小連携推進協議会を年間4回、小学校区ごとのブロック協議会を年3回以上開催した。 ・中学校教員による小学生への授業などを通して、小中学校間の連携を図った。 ・中学校による職場体験学習は、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、昨年度以上の規模で実施した。 ・庄原中学校区で県の指定事業を受け、中学校区で育成したい資質・能力の育成や児童生徒のキャリア発達に向けて、外部機関による出前授業など、共通的に取り組みを進めた。 <p>○日常生活や社会と関連付けた探究的な学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校が育成したい資質・能力を設定し、その育成に向けて、総合的な学習の時間を中心に、学習内容の充実を図っている。 ・探究的な学習推進事業指定の西城中学校区において、児童生徒自身が解決したい課題や地域課題の解決に向けて、情報を収集、整理し、表現したり行動したりする探究的な活動に、先進的に取り組んだ。また、この取り組みを市内全校へ普及させるために、市主催研修会で発表した。 			
成果・効果			
<p>○研修会での保育参観や、ブロック協議会での園所校の相互参観を通して、幼児期及び児童期の子供の様子を共有し、子供の学びや発達について理解を深めた。</p> <p>○キャリア教育推進地域である庄原中学校区を中心に、小中が連携したキャリア教育の充実が図られている。</p> <p>○各学校の実態や地域の特色を踏まえた探究的な学習の実践が行われ、児童生徒の資質・能力の育成が図られている。</p>			
課題・対応			
<p>○児童の発達に即した円滑な幼保小接続となるよう、さらなるスタートカリキュラムの改善を進める必要がある。</p> <p>○市内全校において系統的なキャリア教育の充実が進むよう、庄原中学校区の取り組みを一層充実させ、全校に普及させる必要がある。</p> <p>○市内全校において、今後一層、学校が地域社会等と連携し、児童生徒が広く他者と協働し主体的に取り組むことができる探究活動を実施する必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	③特別支援教育の充実		
取り組み・実績			
<p>○個に即した組織的な指導・支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに「特別支援教育支援員研修会（4/4）」を実施し、服務や役割など基礎的な内容を周知するとともに、具体的な支援の在り方について交流した。 ・「特別支援教育研修会（第1回5/27、第2回6/10、第3回9/16）」において、適正な教育課程の実施、幼保小中や関係機関等との組織的・計画的な連携や支援体制の構築を柱とした講話や、特別な支援を必要とする児童生徒へのアセスメントに関わる講話等を行った。 <p>○就学前からの協働による教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「庄原市就学指導委員会（第1回8/30、第2回9/30、第3回10/31）」を開催し、児童生徒の適切な就学につなげた。 			
成果・効果			
<p>○研修会や各学校における校内研修の実施を通して、教職員の特別支援教育への理解が図られてきている。</p> <p>○特別支援教育の視点をもった幼保小中の接続が必要であることについて、教職員の理解が深まった。</p>			
課題・対応			
<p>○支援を必要とする児童生徒が年々増加しており、児童生徒のアセスメント等についての教職員の専門性の向上とともに、幼保小中の連携や支援体制の確立が一層求められている。また、特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な取り組みについて指導していく。</p> <p>○適切な就学に向けて、幼保小中や関係機関等との連携を綿密に行い、連携の内容も充実させる。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4) 今日的課題への対応		
主な取り組み	④ 幼保小中連携の推進		
取り組み・実績			
<p>○ 学びの系統性・連続性がある教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各小学校において、入学直後の第1学年に対して幼児期の教育との円滑な接続を図るスタートカリキュラムを工夫して実施した。 ・ 「幼保小連携・接続に係る研修会(8/19)」を実施し、庄原保育所、七塚保育所の保育参観を通して、幼児教育への理解促進と幼保小連携・接続の充実に向けた取り組みの推進を図った。 			
成果・効果			
<p>○ 各小学校がスタートカリキュラムの作成・実施に取り組むことができた。</p> <p>○ 児童福祉課と連携して保育参観を伴う合同研修会を実施したことで、参加者が幼児教育への理解を深めるとともに、幼保小連携の意義について理解することができた。</p>			
課題・対応			
<p>○ 小学校入学後の登校渋りの解消、特別な配慮を必要とする児童への支援の充実に向け、一層の幼保小の連携や接続カリキュラムの充実が必要である。</p> <p>○ 令和3年度より市全体の幼保小連携推進体制として「庄原市幼保小連携推進協議会」を設置しており、今後は特に、スタートカリキュラムの充実と、特別な配慮を必要とする児童に係る幼保小連携の取り組みを推進する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(4)今日的課題への対応		
主な取り組み	⑤県立学校との連携の推進		
取り組み・実績			
<p>○市内県立学校の教育活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の小規模県立高校（庄原格致高等学校、西城紫水高等学校、東城高等学校）を支援する団体に教育振興補助金を交付し、高等学校の存続に向けた学校の活性化、魅力ある学校づくり及び学力向上の活動に対し支援を行った。 市補助金：850千円×3校、2,550千円 東城高等学校活性化地域協議会及び西城紫水高等学校活性化プロジェクトチーム会議に参画し、活性化策の検討を行った。 東城高校：9回　西城紫水高校：5回 			
成果・効果			
<p>○各学校では、学習塾との連携や部活動指導者の確保など教育内容の充実を行っている。また、オープンスクール開催等による新入生確保や地域と連携した広報活動など、魅力ある学校づくりへの取り組みを行っており、卒業後の進路や入学者の確保に一定の成果が得られている。</p> <p>○東城高校については、令和4年度において、2年連続で80人を下回り、広島県教育委員会において、今後の在り方が協議された結果、学校活性化地域協議会等の学校の活性化や生徒数の確保に向けた活動が評価され、令和6年度に全校生徒数が80人以上となることを目指して、引き続き取り組むこととなった。</p>			
課題・対応			
<p>○入学者の確保がますます困難となる中、本補助金を活用して、長期的・戦略的視点で、これまで各校が創意工夫し、取り組んできた。こうした魅力ある学校づくりの継続が、高校存続に向けた支援につながると認められるものの、少子化の進行や進路の選択肢が以前と比べて多様化していることもあり、東城高校に加えて、西城紫水高校も2年連続で80人を下回ったことから、学校活性化地域協議会及び活性化プロジェクトチーム会議に引き続き参画する。また、本補助金制度が令和5年度末で終期が到来するため、これまでの検証と制度の見直しの検討が必要である。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(5)教職員の資質向上		
主な取り組み	①教職員の人材育成		
取り組み・実績			
<p>○学び続ける教職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会を実施し、教職員の授業力や専門性を高め、人間性を磨く研修の充実を図った。 ・チューター制度や若年層教職員への訪問等、経験年数に応じた研修を計画的に実施した。 ・ふるさと庄原のことを積極的に学ぶ教職員の育成を図った。 			
成果・効果			
<p>○市主催研修会は、集合とオンラインによりほぼ予定通り行った。</p> <p>○各学校が、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組んでいる。</p> <p>○若年層職員への指導を広島県北部教育事務所と連携して実施したことで、県教育委員会との円滑な情報共有ができた。</p>			
課題・対応			
<p>○新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受け、研修方法や場所の工夫を行い、研修内容を充実させる。</p> <p>○若年層の教職員が増えていることから、各学校がめざす授業の具体的なイメージをもつことができるよう、指導主事による指導内容及び方法を工夫する。</p> <p>○若年層の教職員に対する訪問等では、より効果の高い訪問指導となるよう、教科や業務内容に配慮した訪問者の調整を図る。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(5)教職員の資質向上		
主な取り組み	②教職員の服務管理の徹底		
取り組み・実績			
<p>○教職員の不祥事防止に向けた自覚の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属長への聞き取りや、学校訪問指導を通して、個々の教職員の実態把握を行った。特に初任者、若年層、他市町からの異動者の状況については継続的に把握し、指導を行った。 ・本市で不祥事案が生じたことを受け、臨時の校長会議を開催し、わいせつ、セクハラ防止に特化した研修の実施や面談等を通して教職員の状況を把握すること、施設の安全点検を実施することを指導した。 ・定例校長会議等の機会を捉え、教職員の懲戒処分や交通事故、交通違反の状況について伝え、不祥事根絶に向けた指導を行った。 			
成果・効果			
<p>○不祥事根絶に向けた教職員の意識の醸成を図るよう、定例校長会議で指導を行ってきたが、2件の不祥事案が発生してしまった。</p>			
課題・対応			
<p>○不祥事案の発生を受けて、緊急の不祥事防止研修を行うように指導を行った。また、所属長に再発防止の取り組みを行うように指導した。今後も、自らも過ちを犯し得る存在であることを自覚し、不祥事に係る意識を更に高めるための研修の充実や指導を継続する必要がある。</p> <p>○交通事故、交通違反が増加傾向にある。公務員としての自覚を促し、交通安全意識と交通マナーの向上を図る指導を継続する。</p>			
事業の成果		方向性	
C		継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(5)教職員の資質向上		
主な取り組み	③学校における働き方改革の推進		
取り組み・実績			
<p>○管理職を中心とした組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会として、働き方改革に係る研修や校長面談の実施、学校訪問による各校の取り組みや実態の把握、夏季・冬季一斉閉庁の実施、教職員のストレスチェック実施、教職員個々の在校等時間の実態把握などを実施した。 ・各学校においては、計画的・効率的な業務遂行に向けた取り組み、週1日の定時退校日の取り組み、週2日の部活動休養日の設定、週休日出勤の縮減、日課の見直し、学校行事等の精選などを行った。 ・各所属からの月1回の報告により、勤務時間外の在校等時間の結果を集計し、「学校における働き方改革取り組み方針」に基づいた指導・助言を行い、各学校における業務改善を進めた。 			
成果・効果			
<p>○各学校では教職員の意見を取り入れながら業務改善に向けて取り組みを進めることができている。</p> <p>○各学校の勤務時間外の在校等時間を把握することで、具体的な指導・助言を行うことができている。</p>			
課題・対応			
<p>○勤務時間外の在校等時間が長くなっている教職員の固定化が見られる。計画的・効率的な職務遂行ができるよう継続して指導を行う。</p> <p>○管理職及び教職員の意識向上を図り、働き方改革に積極的に取り組む風土を醸成する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	①学校運営支援組織の充実		
取り組み・実績			
<p>○学校運営の改善を図る意見や学校評価の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、学校関係者評価委員会や学校保健委員会などを開催し、外部からの意見、評価をもとに、教育活動の充実に向けて協議した。 <p>○学校運営協議会制度の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から学校運営協議会制度を全校に導入し、各校において、年3回運営協議会を開催し、学校の経営方針や目指す子供像の共有、目指す子供像の実現に向けた取り組みの熟議を行った。 ・学校の取り組みや学校評価を報告するとともに、教育活動の充実に向けて協議した。 			
成果・効果			
<p>○各学校では、学校教育目標の達成状況を学校評価や学校関係者評価で検証し、各委員会での意見や評価を学校運営に活用している。</p> <p>○学校運営協議会の設置により、該当校の学校運営に対して保護者及び地域住民の理解、協力、参画が促進された。</p> <p>○具体的な取り組み内容を、教頭・事務長研修会や定例校長会議の場で還元することで、管理職の制度等に対する理解を深めた。</p>			
課題・対応			
<p>○教職員や地域等に対して学校運営協議会の制度等を説明し、制度等に対する理解を深める取り組みを行う必要がある。特に、運営協議会において、取り組みに対する委員からの意見交流のみならず、目指す子供像の実現に向けた熟議を充実させる必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課・教育指導課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	②就学支援制度の充実		
取り組み・実績			
<p>○私立幼稚園支援事業の実施</p> <p>私立幼稚園等の利用者や運営者に対し次の負担金・補助金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設型給付費負担金（国の幼児教育無償化による保育料相当分） 29,640 千円 ・施設等利用費負担金（国の幼児教育無償化による保育料相当分） 231 千円 ・副食費負担金(国の幼児教育無償化対象とならない部分への市独自負担分を含む) 1,588 千円 ・入園料補助金（第2子半額、第3子以降無償） 225 千円 ・預かり保育利用補助金（保育に対する利用料金補助） 632 千円 ・子ども・子育て支援事業補助金（預かり保育運営事業者へ交付） 187 千円 ・保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金(職員の処遇改善を目的に交付) 513 千円 <p>○奨学金貸付制度の充実</p> <p>学習に意欲がありながら、経済的な理由などにより高等学校等へ修学が困難な者に対し庄原市奨学金を貸し付けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付実績 9,078 千円 貸付者数 21 人（新規：7 人、継続：14 人） ・返還実績 25,788 千円（現年分：25,644 千円、過年度繰越分：144 千円） 返還対象者 193 人 <p>○入学祝金の支給</p> <p>本市在住の新小学1年生、新中学1年生を対象に入学祝金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校：228 人、中学校：272 人 合計 500 人×30 千円＝15,000 千円 <p>○就学援助費支給制度による経済的支援の推進</p> <p>就学継続が困難で経済的支援を必要とする児童生徒の保護者に、就学援助費を支給した。</p>			
成果・効果			
<p>○幼稚園利用者に対して、国の幼児教育無償化による施設型給付費等の負担金、預かり保育利用補助金及び市独自の副食費負担金・入園料補助金の交付し、経済的負担の軽減を図ることができた。また、幼稚園運営事業者に対して、一時預かり事業と職員処遇改善について補助金を交付し、幼稚園教育の充実を図ることができた。</p> <p>○奨学金の貸付により、進学や経済状況の変化に伴う家計負担軽減に寄与し、奨学生の修学を支援した。</p> <p>○入学祝金支給により、入学を祝福し児童・生徒の健全な育成を支援した。</p> <p>○就学援助費を支給することにより、他の児童生徒との経済的理由による教育的格差の解消に努めた。</p>			

課題・対応	
<p>○私立幼稚園利用者及び運営者に対し、継続して補助金及び負担金を交付することにより、運営を支援し、保護者の経済的負担軽減を図る。</p> <p>○奨学金返還金の収納対策において、新規返還者への指導・啓発や口座振替による返還などを行い、滞納防止に努める。また、滞納月・額が増加している者に対しては、本人または家族等への連絡や訪問等により、長期滞納防止に努める。</p> <p>○入学祝金は、支給日までの事務期間が短いため、効率的な事務処理が求められる。市内住民登録者で市外の小中学校に入学する場合も対象となり、これらの把握が困難なことから、関係機関との連携や情報収集が重要である。</p> <p>○就学援助費の支給に向け、適切な就学支援事務を行っていく。</p>	
事業の成果	方向性
B	継 続

学 校 教 育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	③学校施設・設備の充実		
取り組み・実績			
<p>○学校施設の維持管理及び設備・備品の整備 25,617千円〔R3 繰越分 3,816千円〕</p> <p>【修繕・工事】 23,302千円〔R3 繰越分 3,816千円〕</p> <p>西城小高圧受電設備修繕、比和小体育館樋等改修工事、総領小・西城中・総領中エレベータ修繕他</p> <p>〔R3 繰越分:栗田小屋根修繕 1,925千円、高野中自動火災報知設備修繕 1,891千円〕</p> <p>【備品購入費】 2,315千円</p> <p>特別支援学級用備品(高小・東小・総領小・庄原中)、東城中電話機購入 他</p> <p>○全域的教育環境等整備事業の実施 15,343千円</p> <p>屋外遊具等環境整備(12校)1,929千円、教室等施設環境整備(14校)10,790千円、プール環境改善(4校)894千円、机・椅子等購入(9校)1,065千円、GIGA スクールインターネットプロバイダ料(22校)665千円</p> <p>○トイレ洋式化工事(3校) 91,710千円</p> <p>○公共施設手洗い自動水洗化工事(21校) 16,827千円</p> <p>○西城中体育館屋根修繕・校舎北面建具改修工事 48,719千円</p>			
成果・効果			
<p>○施設の老朽化等に伴う修繕・工事・備品整備を実施し、学校施設設備の充実を図った。</p> <p>○令和4年2月策定の「学校施設トイレ洋式化等整備計画」に沿ったトイレ洋式化工事(板橋小・西城小(校舎)・比和小)を実施するとともに、令和5年度予定事業(永末小・西城小(屋体)・高野小・西城中・総領中)を国庫補助金を活用し、前倒し実施(令和4年度に設計業務を完了し、工事は令和5年度に繰越)することで、より速やかな計画実施を図った。</p>			
課題・対応			
<p>○施設の経年劣化に伴い、修繕が必要な箇所が多数存在している状況を踏まえ、緊急度や重要度等を測りながら計画的に修繕を行っていく必要がある。</p> <p>○GIGA スクール構想による児童生徒1人1端末等を活用した学習を推進しているが、令和6年度からのデジタル教科書本格導入への対応等、インターネット回線の通信速度不足に対応する必要がある、令和5年度に回線増強を図ることとしている。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	④遠距離通学児童生徒への支援		
取り組み・実績			
○スクールバスの運行等による通学手段の確保			
【小学校】 120,957 千円			
・スクールバス運行業務委託 114,025 千円			
・登下校タクシー借上料 2,385 千円			
・スクールバス維持管理費等 4,547 千円			
【中学校】 19,374 千円			
・スクールバス運行業務委託 18,382 千円			
・登下校タクシー借上料 801 千円			
・自転車用ヘルメット購入費 191 千円			
○通学費援助事業の実施による保護者負担の軽減			
・小学校通学費補助事業 937 千円			
・中学校通学費補助事業 19,260 千円			
・中学校クラブ通学費補助事業 92 千円			
○東城中学校寄宿舎の運営			
・東城中寄宿舎（定員72名：入寮8名） 8,041 千円			
成果・効果			
○遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスやタクシーの運行等を行うことにより、通学手段を確保するとともに、通学費補助金や定期券等相当額を交付することにより、保護者の負担軽減を図った。			
課題・対応			
○生活交通対策と連携し、輸送の最適化や児童生徒の体力低下への影響を考慮した通学支援内容を検討する必要がある。			
事業の成果		方向性	
B		継続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	⑤学校給食の充実		
取り組み・実績			
<p>○学校給食施設設備の維持管理 【消耗品費・修繕・工事・備品】 8,830 千円 調理機器修繕(各調理場)、冷凍/冷蔵庫(峰田・西城・口和)、空調機器移設/更新(口和・総領)</p> <p>○学校給食調理業務等の民間委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原・西城・口和・高野・比和地域学校給食調理業務委託(6施設) 150,558 千円 ・東城地域学校給食調理業務委託(1施設) 37,399 千円 ・総領地域学校給食調理配送業務委託(1施設) 13,565 千円 ・庄原地域学校給食配送業務 17,466 千円 ・西城地域学校給食配送業務 4,549 千円 ・東城地域学校給食配送業務 3,179 千円 <p>○衛生管理や異物混入対策の徹底</p> <p>○食物アレルギーへの対応</p> <p>○学校給食を活用した食育の推進</p> <p>○学校給食費負担軽減支援金の交付 69,674 千円(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生量 25 円/食、中学生量 30 円/食を学校給食会又は調理場運営協議会へ助成 ・対象期間 令和4年10月～令和5年3月 			
成果・効果			
<p>○施設の改修及び備品等の購入により、安全で安心な給食の提供を行った。</p> <p>○学校給食の効率的運営を図るため、全地域で学校給食調理業務の民間委託を実施している。</p> <p>○「学校給食異物混入等対応マニュアル」に基づく対応の徹底等、学校給食の衛生管理や異物混入対策の適切な実施・指導に努めた。</p> <p>○食物アレルギーへの対応については、保護者理解のもとで円滑に実施することができた。</p> <p>○物価高騰に伴う学校給食の食材費が高騰する中、保護者に新たな負担を求めることなく、量や栄養バランスを保った学校給食を実施できた。</p>			
課題・対応			
<p>○安全で安心な給食を提供するため、引き続き、施設・設備の維持改修を適切に行うとともに、衛生管理や異物混入防止等の指導を徹底する。</p> <p>○調理機器について計画的に修繕等を行っているものの耐用年数を経過し、修繕での対応が困難になりつつあるため、計画的に更新していく必要がある。</p> <p>○食物アレルギー対策については、対応マニュアル等に基づき、誤食事故を防止するため、引き続き学校・保護者等と綿密に連携を図り、常に細心の注意を払う。</p>			
事業の成果		方向性	
A		継 続	

学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	⑥学校の適正規模・配置の推進		
取り組み・実績			
<p>○庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画（以下「基本計画」）に基づく取り組みの推進 令和4年1月に見直しをした基本計画について、令和4年3月～5月に対象校関係者への説明会を実施した。</p> <p>また、第1・2グループの対象校関係者と意見交換の機会を設けるよう努めるとともに、峰田小学校関係者と適正配置に係る意見交換会や保護者による統合校への授業参観等、情報提供を行うなど協議を重ねた。</p>			
成果・効果			
<p>○令和4年1月の基本計画見直し内容をはじめ、将来の学校のあり方や子供の教育について、対象校関係者へ説明や協議を行うとともに、情報提供を行った。</p>			
課題・対応			
<p>○複式学級の編制状況及び児童・生徒数の推移やこれから求められる資質・能力などのことを踏まえ、学校の実態や教育環境を十分検討しつつ、保護者及び地域と、より一層協議を重ねていく。</p>			
事業の成果		方向性	
C		継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)学習機会の提供		
主な取り組み	①各種講座等の充実		
取り組み・実績			
<p>○県立広島大学市民公開講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりの生涯学習に対する関心が高まる中で、県立広島大学の多彩な講師陣による学習機会を設けた。前期には3回開催できたが、後期は講師との日程が合わずに開催することができなかった。 <p>○生涯学習事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった事業もあるが、各地域の状況や課題に応じた生涯学習事業を実施した。 <p>○庄原市二十歳を祝う会の実施（旧名称：成人式）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から成人年齢の引き下げに伴い、名称を「庄原市二十歳を祝う会」として、8月15日（月）に開催した。 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により録画配信での開催だったが、令和4年度は感染防止対策を行い、3年ぶりに集合型で開催した。 なお、式典には庄原市内外の対象者275名のうち157名が参加した。 			
成果・効果			
<p>○県立広島大学との連携による市民公開講座は市民の学習機会を提供する場となっている。</p> <p>○各地域において、学習成果を地域社会の中で生かしていけるような場を提供することで、市民の学習意欲の向上につながっている。</p> <p>○令和4年度から名称を「成人式」から「庄原市二十歳を祝う会」に変更した。名称が変わったことによる混乱等はなかった。</p> <p>○生涯学習事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難な地域もあった。</p>			
課題・対応			
<p>○県立広島大学による市民公開講座は、新たな受講者を開拓するため、市民の関心の高い内容をテーマに設定し、より多くの市民に情報提供を行っていく必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが、5類感染症へ変更となったことを踏まえ、庄原市二十歳を祝う会の内容を検討する必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)学習機会の提供		
主な取り組み	②人権教育の推進		
取り組み・実績			
<p>○地域における人権教育学習会や講演会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習会：自治振興区を中心に、講師（人権推進委員等）を招いて、地域学習会を開催した。 ※新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、学習会実施を自粛された地域があった。 ・人権講演会、人権啓発セミナー、パネル展、人権啓発映画の上映を市内各地域で行った。 <p>○人権教育推進委員活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興区の意見を基にDVDを購入し、地域での視聴や研修会の実施となった。各担当地域において開催される学習会、研修会等に講師、補助員として参加した。 <p>○人権作品の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域での人権意識高揚のため、人権作品の応募を行い、最優秀作品について表彰を行った。応募総数664点(標語の部656作品・作文・詩の部6作品・ポスター絵画・写真詩画2作品)、集合での人権講演会中止に伴い、防災対策室において表彰(最優秀賞)を行った。優秀作品は、人権啓発事業等に活用している。 <p>○啓発資料の提供・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発資料として、人権啓発ビデオ2本（「知りたいあなたのこと3 きこえない人の生活」「夕焼け」）を購入し、地域学習会で活用した。（貸出申請件数：46件） ※新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、学習会実施を自粛された地域があったため、貸出件数が減少した。 			
成果・効果			
<p>○自治振興区を中心とした各地域での人権学習会の開催は、市民生活課による人権啓発映画の上映、人権啓発行事等の啓発活動への参加促進とあわせて、市民への人権学習の機会となっている。</p> <p>○人権教育推進委員は現在80名委嘱しており、地域学習会の開催や参加促進等にかかわっている。</p> <p>○庄原市企業人権啓発推進連絡協議会に資料提供することにより、地域だけでなく、企業の人権学習会でも人権啓発DVDを利用されるようになった。</p> <p>○人権啓発のための作品を募集し、人権問題について考える機会を設けることで、人権意識の高揚と意識啓発を図った。</p>			
課題・対応			
<p>○地域により、人権学習の機会の持ち方や参加の仕方が異なり、統一的な地域学習会とはなっていないが、多くの人が参加しやすい体制での実施を促す。</p> <p>○地域学習会の開催や啓発事業、研修会への参加促進を呼びかける。</p> <p>○様々な視点から人権について学習できるよう幅広い課題についての資料提示を行う。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)学習機会の提供		
主な取り組み	③地域課題等に対する学習活動の推進		
取り組み・実績			
<p>○地域力醸成事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが地域課題の解決に向けた活動に結びつけていく力を醸成するため、現代的課題や地域の課題を解決する事業について、自治振興区を中心に展開した。新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施を縮小した地域があった。31事業開催、729人参加。 ・世代間交流事業（小学生と地域住民との交流） <ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモ苗植付け、収穫 ・高齢者との茶道教室 ・自治振興センター前の花の植え替え ・大豆の播種、収穫 など ・その他の事業 <ul style="list-style-type: none"> ・和紙ちぎり絵教室 ・男の料理教室 ・フラワーアレンジメント教室 など 			
成果・効果			
○自治振興区を中心に、他の団体等との連携や地域住民の協力を得ながら、世代間交流事業等が実施され、地域課題の解決に向けた活動につながった。			
課題・対応			
○多くの自治振興区に取り組んでもらえるよう事業実施を広く周知する必要がある。			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)学習活動の支援		
主な取り組み	①自治振興区における生涯学習の推進		
取り組み・実績			
<p>○生涯学習委託事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興区に生涯学習事業を委託し、生涯学習活動と自治振興活動を一体的に推進することにより、各地域において、地域活動と連動し、特色を生かした生涯学習事業を実施している。(22自治振興区)平成30年度から事業評価を実施しており、自治振興区巡回事業において評価対象事業2事業を選定し、事業観察を行い、実施状況の把握に努めた。 <p>○自治振興区職員研修会の実施及び各種研修会への参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治振興区職員の資質向上を目的に、研修会を開催した。また、各種大会、県主催の研修会や市教育委員会主催の研修会等に積極的に参加していただいた。 			
成果・効果			
<p>○生涯学習委託事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画している事業が実施できていないところもあったが、コロナ対策を行いながら事業を実施した自治振興区もあった。</p> <p>○自治振興区職員に対し、県等が主催する研修会への参加を促進するとともに、市教育委員会主催の研修会を開催し、社会教育推進に必要な知識の習得や理解を深めた。</p>			
課題・対応			
<p>○引き続き、生涯学習事業について事業観察を行い、実践事例集の作成につなげていく。</p> <p>○生涯学習推進のための共通した理解を基に、各地域の課題に対応した事業が展開されるよう、引き続き職員研修を実施し、自治振興区職員の能力向上を図っていく。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)学習活動の支援		
主な取り組み	②社会教育関係団体等の育成・支援		
取り組み・実績			
<p>○地域女性団体連絡協議会、子ども会連合会等の活動支援</p> <p>【庄原市地域女性団体連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会を目指し、生活者の立場から地域コミュニティづくりを目指す庄原市地域女性団体連絡協議会の各種活動の支援を行った。 <p>(平和学習、広島っ子と心を結ぶ声の掛け合い運動等の実施)</p> <p>【庄原市子ども会連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供育成の指導者を養成し、青少年健全育成に寄与する庄原市子ども会連合会の各種活動の支援を行った。(ニュースポーツ教室、ピザ焼き体験、薪割りバーベキュー大会等の実施) <p>【庄原市青年団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内で開催する各種事業を通して、若者同士の交流をはじめ地域住民との相互連携を図ることを目的に活動する青年団体の支援を行った。 			
成果・効果			
○各種社会教育団体への支援により、市内社会教育団体の活動の活性化を図った。			
課題・対応			
<p>○各社会教育団体の実情を把握し、補助金の適切な執行や活動内容について指導・助言を行っていく必要がある。</p> <p>○高齢化などによる構成員の減少により各組織の規模が縮小傾向にあるため、活動存続のための支援が必要である。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)学習活動の支援		
主な取り組み	③生涯学習情報の収集及び発信		
取り組み・実績			
<p>○広報誌や市ホームページ等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興区より広報誌を収集し、他の自治振興区へ情報提供を行った。 ・月1回月刊公民館の特集記事をメールで各自治振興区へ提供した。 <p>○全国大会出場者激励式の様子をユーチューブで配信した。</p>			
成果・効果			
<p>○市内の自治振興区での取り組みや、全国的な情勢等について、各自治振興区へ情報提供を行うことで、事業実施の参考となっている。</p> <p>○全国大会激励式をコロナ禍において出席者を限定して開催したが、ユーチューブで録画配信することにより、多くの方に広く紹介でき、応援することができた。</p>			
課題・対応			
<p>○県内の公民館や全国的な事例等についての情報収集・情報提供を行うことで、事業の質の向上、市民参加の促進を図る必要がある。</p> <p>○実践事例集の早期発行に努め、各自治振興区の活動に反映させる必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3) 読書環境の充実		
主な取り組み	①図書館機能の充実		
取り組み・実績			
<p>○図書館資料の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 3,364冊、6,056千円（図書購入予算執行率 96.26%）計画的に購入した。 県立広島大学より、書籍を179冊受贈した。 子供の読書活動の推進を図るため、絵本及び児童図書に重点を置き選書した。 電子図書サービスを導入し、電子図書の購入、貸出を開始した。ID発行数 17,864件 電子図書の購入2,138冊、貸出件数2,040件、閲覧4,705件 <p>○図書館サービスのための人材育成及び運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立図書館主催の図書館職員研修に関し、(9/12) 児童サービスについて、(1/18) 地域・郷土資料入門について参加した。 各分館へ電話等により随時支援した。 図書館資料の有無やその配架位置について、現物をもって確認する蔵書点検を各館において実施した。 			
成果・効果			
<p>○多くの保育所、小学校等から団体貸出利用があった。115件 9,836冊</p> <p>○インターネット予約の利便性を向上させ、インターネットで予約された図書について貸出を可能としたため、読書活動を推進出来た。インターネット予約件数 1,767件</p> <p>○電子図書サービスを導入し、電子図書の購入、サービス開始の周知、市内小中学生へのIDの配付を行い、読書活動を推進できた。</p> <p>○研修の成果を図書館職員に還元することができた。また、レファレンス業務で分館との連携や支援を行うことができた。</p>			
課題・対応			
<p>○引き続き、計画的な図書購入を行う。</p> <p>○インターネット予約による貸出サービスが可能であることを引き続き周知する。</p> <p>○電子図書の貸出サービスについて、引き続き周知する。</p> <p>○今後も、計画的に研修の機会を設けるとともに、より多くの職員の参加を促す取り組みを行う。</p>			
事業の成果		方向性	
A		継続	

生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3) 読書環境の充実		
主な取り組み	②子供の読書活動の推進		
取り組み・実績			
<p>○庄原市子供の読書活動推進計画（第四次計画）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月テーマを決めて、絵本や児童書の企画展示を実施した。 ・教育指導課と連携し、子供司書の受入を行い、児童の読書活動の充実を図った。 (令和4年度受講児童数：15名) <p>○赤ちゃんが絵本に触れ合う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「赤ちゃんが絵本に触れ合う活動」として4か月児と1歳6か月児を対象に絵本を配付し、本との出会いの大切さを伝えるとともに、幼少期における読み聞かせの大切さを啓発した。 <p>○読書活動ボランティアの育成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなしボランティアの研修機会を計画し、3/11に開催した。 ・読書ボランティア団体の定期のおはなし会開催を支援し、子供が読書に親しむ機会として取り組んだ。 (令和4年度開催回数：本館12回、西城15回、口和12回、高野10回) 			
成果・効果			
<p>○毎月の企画展示等により、子供が本に触れ合う機会や読書する環境を整えることができた。</p> <p>○読書ボランティアと図書館職員が協力して乳幼児健診時に絵本配付を行い、多くの乳幼児が本に触れ合う機会を提供できた。</p> <p>○おはなし会を通して、より読書に親しむ機会をつくることができた。</p> <p>○おはなし会「ダンボ」が、学校や地域と連携した読書活動推進の取り組みを評価され、令和5年度子供の読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰を受賞した。</p>			
課題・対応			
<p>○家庭での読み聞かせをはじめ、乳幼児期からの取り組みが重要と捉え、読書活動を推進することが必要。学校やPTAの連携で引き続きアウトメディアの取り組みを推進する。</p> <p>○第四次計画で掲げた目標に向け、子供の読書習慣の形成に向けた取り組みを実施する。</p> <p>○幼児期から小学校入学までの子供への読書機会の充実をさらに図る必要がある。</p> <p>○読書ボランティアがより充実した活動を継続できるよう、活動の機会や場を提供するとともに、読み聞かせのスキルアップを目的とした研修の機会を引き続き実施する。</p>			
事業の成果		方向性	
A		拡大継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	① 芸術・文化意識の高揚		
取り組み・実績			
<p>○「庄原市美術展覧会」「県美展巡回展」「文化講演会」の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原市美術展覧会：11/3～9、11/12～18 入場者数 250 人（前年度 302 人）応募作品 104 点 コロナ禍の前は、全作品を一度に展示していたが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため前期と後期に分けて作品を展示し、感染予防に努めた。 ・新県美展巡回展：8/31～9/4 入場者数 131 人 応募作品 15 点 コロナ禍により令和2～3年度は2年連続で中止となっており、3年ぶりの開催となった。 ・文化講演会：埋蔵文化財講演会「佐田谷・佐田峠墳墓群、甲山古墳」3/26 <p>○市役所ロビーコンサートの実施・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～3月の毎月第4月曜日の昼休憩時（12:15～12:55）に加えて、6月と9月は東城支所市民ホールにおいて夕方（17:30～18:30）にロビーコンサートを開催する予定であったが、8月及び12月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、4～7月及び11～3月は開催場所を庄原市ふれあいセンターに変更して開催した。来場者数 789 人。 <p>○けんみん文化祭ひろしま'22「大正琴・新舞踊の祭典」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を設立し、東城文化ホールにて、分野別フェスティバル「大正琴・新舞踊の祭典」を開催した。 <p>○けんみん文化祭ひろしま備北地区フェスティバル庄原大会の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の活動・発表の場でもあり、次年度県大会の予選会でもある備北地区フェスティバル庄原大会の開催を支援した。新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となり、15団体が出場した。 <p>○本物の芸術文化に触れる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内保育所及び小学校に「あおぞら金管合奏団」「弦楽四重奏ベルクワチュール」「ピアノデュオ」を招聘し、園児・児童に生演奏を聴く機会を提供し、楽器への興味と音楽の楽しさ素晴らしさに触れてもらうことにより、感性を育てることを目的として、小学校6校、保育所3所でミニコンサート及びワークショップを実施した。 			
成果・効果			
<p>○市美展の出品作品について、市内の高等学校へ働きかけたことで、書道と写真の応募に繋がった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から様々な取り組みを中止とした中、市役所ロビーコンサートについては、開催場所を変更し、感染予防対策を徹底のうえ実施したことで、市民に気軽に親しみやすく、くつろいでいただける空間を提供することができた。</p> <p>○けんみん文化祭分野別フェスティバルの開催、及び備北地区フェスティバル庄原大会の開催支援の実施により、本市における芸術・文化意識の高揚を図った。</p>			

課題・対応	
<p>○市美展において、出品作品数を増やすためには、市民の出展に係る気運を高めるなど、文化協会ほか関係団体と引き続き検討する必要がある。</p> <p>○市役所ロビーコンサートの継続にあたり、本市ゆかりの音楽活動家について情報収集が必要である。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、けんみん文化祭への出場団体が減少しており、今後も継続的に支援をしていく必要がある。</p>	
事業の成果	方向性
B	拡大継続

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	②文化団体等の支援		
取り組み・実績			
<p>○庄原文化協会等の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の文化団体並びに会員相互の交流を進め、文化的な教養の充実を図るとともに、連携して市民の文化活動の振興と地域文化の高揚を図ることを目的に活動する庄原市文化協会の活動を支援した。 ・ミュージカルを通して、子供の表現力や想像力を養い、舞台芸術に触れることでこれからの文化芸術の担い手を育成するため、庄原こどもミュージカルの活動を支援した。 			
成果・効果			
<p>○本市の芸術・文化活動の中心的な役割を担っている庄原市文化協会の活動を支援することで、市民の文化活動と地域文化の振興を図ることができた。</p> <p>○庄原こどもミュージカルの活動を支援することで、子供達の表現力や想像力の育成に繋がった。</p>			
課題・対応			
<p>○より多くの市民を文化活動に巻き込むために広報等の支援を行う必要がある。</p> <p>○文化協会や関係団体と連携して、研修の情報提供や機会を増やしていく必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	③ 芸術・文化施設の活用促進		
取り組み・実績			
<p>○ 庄原市民会館等大規模改修及び改修後の利活用に向けた取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備方針、整備計画に基づき、庄原市民会館の大規模改修を行い、本市の芸術・文化活動の拠点施設として、市民の文化の向上を目指す。 <p>○ 庄原市民会館・東城文化ホール等の利用促進</p> <p>【庄原市民会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の文化の向上及び住民福祉の増進を図るため設置している庄原市民会館の管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日、指定管理料：16,985千円 ・ 大規模改修工事期間：令和3年9月3日～令和5年3月31日 <ul style="list-style-type: none"> 総工事費 1,914,000千円（自治振興センター645,209千円、市民会館1,268,791千円） 令和4年度執行額（市民会館）：現年613,865千円、繰越明許393,718千円 ・ 休館期間：令和3年9月1日～令和5年3月31日 <p>【東城文化ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の文化の向上及び住民福祉の増進を図るために設置している東城文化ホールの管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日 ・ 指定管理料：11,225千円 施設修繕費： 0千円 <p>【田園文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄原市田園文化センターの利用促進及び適切な管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田園文化センター改修工事実施設計業務委託： 680千円 			
成果・効果			
<p>○ 指定管理により施設を管理するとともに、各種ホール活用事業の実施により、市民に幅広い芸術、文化に触れる機会を提供した。また、施設の老朽化が課題となっていたが、大規模改修工事を実施することにより、課題を解消し利用者へのサービス向上が見込まれる。</p> <p>○ 東城文化ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理により施設を管理するとともに、各種ホール活用事業の実施により、市民に幅広い芸術、文化に触れる機会を提供した。 <p>○ 田園文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的ホールにおいて、市美展を開催した（県美展の巡回展は新型コロナウイルス感染予防のため中止）。 ・ 新型コロナウイルス感染予防のため、例年開催されている市民団体等の展示会等は減少したが、研修会や会議の利用があった。 			

課題・対応	
<p>○庄原市民会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事完了によるリニューアルオープンを記念し、5月に開館記念行事を開催するとともに、7月以降は年間を通して開館記念事業を実施していく。 <p>○東城文化ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの5類感染症への移行による対応変更を踏まえ、事業を実施していく。建築から10年以上が経過し、ホール座席等の劣化が進んでいるため、計画的に修繕を実施する必要がある。 <p>○田園文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成元年開館以降、33年を経過し老朽化が進んでいる。 ・多目的ホールも開館時のまま今日まで使用しており、水漏れによる天井、壁面、床への汚れが目立つ状態になっている。 ・施設全体について、計画的に修繕を行う。 	
事業の成果	方向性
B	拡大継続

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	①文化財の保護・管理の推進		
取り組み・実績			
<p>○指定文化財の草刈り等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財を後世に残していくために、国・県・市の指定文化財所有者が管理している文化財の防災対策や周辺の草刈りなど、環境の整備や日常管理に対する支援を行った。 ・堀江家住宅保存修理工事（屋根葺き替え及び木部修繕）実施に向けて、県教育委員会、文化庁と密に連携し、所有者による指名競争入札～契約等の事業実施及び国・県・市への補助金申請について継続的に支援を行った。 			
成果・効果			
<p>○文化財の防災対策や草刈等の環境整備により保存活用に一定の効果があった。</p> <p>○堀江家住宅保存修理工事について、令和4年9月に指名競争入札を実施し、10月から工事を開始した。</p>			
課題・対応			
<p>○管理者の高齢化が進み、管理が困難になってきている。</p> <p>○堀江家住宅保存修理工事について、所有者、設計業者、施工業者と密に連携する必要があるため、定期的に工程会議を実施し、令和5年12月末の完了に向けて工事の進捗管理を行う。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	②文化財の活用推進		
取り組み・実績			
<p>○文化財ガイド養成講座の実施</p> <p>・庄原DMOと共同で文化財ガイド養成講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>			
成果・効果			
<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文化財ガイド養成講座の実施ができなかった。</p>			
課題・対応			
<p>○文化財ガイド養成講座では、庄原DMOと更なる連携を行うとともに、講座の実施方法について検討する必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
C		継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	③文化財の継承・啓発		
取り組み・実績			
<p>○無形民俗文化財保存団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年の無形民俗保持団体への補助金支援を実施するとともに、民俗芸能振興協議会を通じて連携を図った。 ・4年に1回開催される塩原の大山供養田植の現地公開への補助事業を実施した。 <p>○市史・町史誌の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市史・町史誌11部を販売した。 ・文化財だよりの作成に取り組み、300部を発行した。 <p>○文化財指定への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会委員と協力し、各地域の文化財調査を実施し、市指定天然記念物4件について、指定解除を行った。 ・「佐田谷・佐田峠墳墓群」が令和3年10月11日付で国史跡に指定されたことを記念し、土器パズル、パンフレット、リーフレット、記念ブックマークを作成し、また、現地説明看板、案内看板を設置するとともに、地元説明会を行った。当初予定していた記念講演会は、文化庁等との調整がつかず、令和6年度以降に延期することとなった。 ・佐田谷・佐田峠墳墓群及び甲山古墳をテーマに埋蔵文化財講演会を開催した。 			
成果・効果			
<p>○市内に伝わる無形民俗文化財の保存継承に寄与した。</p> <p>○文化財だよりの発行により、文化財の業務内容を周知することができた。</p> <p>○佐田谷・佐田峠墳墓群の国史跡指定を記念した各種事業の実施により、一定の周知・啓発をすることができたが、記念講演会が延期となり、不十分な点もあった。</p>			
課題・対応			
<p>○無形民俗文化財保存団体構成員の高齢化により、若い世代の継承が必要である。記録保存の対応も含め、保存措置を検討する。</p> <p>○市史・町史誌の有効活用を促進する目的で県外公的機関への寄贈活用を引き続き促進する。</p> <p>○引き続き佐田谷・佐田峠墳墓群の国史跡指定についての周知啓発を行っていく必要がある。また、国史跡指定に関連して、文化庁や県から文化財行政の体制を整えるよう要請があり、文化庁から全国の自治体に対し、文化財行政の体制整備について通達等も出されている。史跡指定関連業務以外の文化財保護業務もあり、早急な体制整備が必要である。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	④埋蔵文化財への対応		
取り組み・実績			
<p>○開発に伴う埋蔵文化財の協議・届出等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間数十件協議がある埋蔵文化財協議及び届出等について、早期に実施できるよう、相手方と綿密な調整を行った。令和4年度は81件の文化財協議を実施した。 <p>○埋蔵文化財発掘調査資料の整理・保存</p> <p>○埋蔵文化財センターの活用・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学生を対象に郷土学習支援事業を実施した。(5回) 			
成果・効果			
<p>○開発事業に伴う埋蔵文化財の協議・届出等への対応について、施行業者に周知が行き届き、文化財協議もスムーズに進めることができた。</p> <p>○庄原市埋蔵文化財センターについて、文化財調査や郷土学習支援事業の拠点施設として、機能することができた。</p> <p>○令和3年度に作成した赤色立体図を活用することにより、文化財協議等の対応がスムーズに進められるようになった。</p> <p>○郷土学習支援事業や出前トークの実施によって、文化財の普及啓発に一定の効果があった。</p>			
課題・対応			
○庄原市埋蔵文化財センターは職員が常駐ではないので、日常管理が課題であり、貴重な文化財を管理する上でのセキュリティ強化を検討する。			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 ア 庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に基づく各種事業の推進		
取り組み・実績			
○博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に基づく事業実施 ・令和3年度に策定した5か年計画の2年目となり、引き続き各館において事業を展開した。 ・全館共通のビジョン：全国に誇れる市民の博物館・資料館 ・各館のビジョン： 比和自然科学博物館：中国山地の魅力を発信する博物館 帝釈峡博物展示施設時悠館：帝釈峡と人々をつなぐビジターセンター 口和郷土資料館：先人の「知恵と技」が息づく、木造校舎のレトロな郷土資料館 庄原市歴史民俗資料館：歴史文化を学びにつなげる資料館 倉田百三文学館：市民に親しまれる倉田百三文学館 ・全館共通のミッション：郷土文化を凝集した『地域密着型』の施設 ・各館のミッション 比和自然科学博物館：広島県内唯一の自然史系博物館としての知的遊園地機能の発揮 帝釈峡博物展示施設時悠館：帝釈峡遺跡群及び帝釈峡の地域資源としての活用と継承 口和郷土資料館：道具に息づく先人の「知恵と技」への学びと継承 庄原市歴史民俗資料館：歴史文化の再発見と学びの拠点 倉田百三文学館：庄原市ゆかりの文学者 倉田百三の情報拠点としての充実 ○収蔵資料のくん蒸 ・毎年持ち回りで実施している収蔵資料のくん蒸について、令和4年度は総領収蔵学習室で実施した。			
成果・効果			
○令和3年度に策定した「博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）」に基づき各館の目標を定めて事業を進めることができた。 ○総領収蔵学習室の燻蒸を実施し、収蔵資料の保存環境を整えた。			
課題・対応			
○長期的な資料館運営を見据えた体制づくりの継続的な実施が必要である。 ○令和5年度は基本計画の中間年となるため、中間年評価を行い状況の確認を実施する必要がある。			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 イ 比和自然科学博物館・地学分館の管理・運営		
取り組み・実績			
○比和自然科学博物館・地学分館の管理・運営 ・中国山地の魅力を発信するため、中国山地の自然をテーマに年間10回の公開講座及び宮島水族館への出張講座を開催した。(参加者415人) ・市民研究者チャレンジ企画展示「中国山地で赤ちゃんクジラ発見!～庄原はクジラの繁殖地～」(3/5～5/9)、及び「小型サンショウウオ種の多様性～小型サンショウウオの新種研究報告～」(8/13～10/30)を実施した。 ・RCCテレビ番組「元就」来館記念特別企画「アンガールズが採ったちっちゃ～い昆虫と比婆山連邦の新種昆虫」(11/5～3/31)及びミニ展示企画「中国地方初発見!昆虫がまとった素敵なドレス!?!～幻のカビ発見報告」を実施した。 ・学校の課外授業や職員研修の場として博物館見学の対応を行った。 ・中村慎吾名誉館長の逝去を受け、追悼展として令和5年度特別展を実施するよう検討した。 ・地元の自然史系博物館として市内の小中学校に、館長出張授業による総合的な学習の時間の授業支援ができた。 ・市内学校等への周知、HPやフェイスブックの活用、インターネットミュージアムキャラクターワードへのノミネート、マスコミ取材対応等により、周知を行った。			
成果・効果			
○新型コロナウイルス感染症に関する影響を受けながらも、博物館公開講座などの博物館の活動をできる限り実施することにより、県内唯一の自然史系博物館として学習の場(知的遊園地)としての役割を担うことができた。 ○宮島水族館・備北丘陵公園・庄原駅周辺地区まちづくり協議会・備北交通(株)・広島県など、業種を越えた連携による幅広い事業展開ができた。 ○市民参加型展示企画や館長出張授業などの実施により自然史系博物館としてのノウハウを市民へ還元することができ、合わせて効果的な周知活動が展開できた。			
課題・対応			
○市民研究者チャレンジ企画展示やミニ企画展などを充実させる。 ○長期的な博物館運営を見据えた博物館施設修繕及び改修の検討と運営体制づくりの継続的な取り組み。			
事業の成果		方向性	
A		継 続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 ウ 帝釈峡博物展示施設時悠館（帝釈峡まほろばの里含む）の管理・運営		
取り組み・実績			
<p>○時悠館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「帝釈峡全体の活性化につながる館運営」に向けて、東城教育室内での業務分担、郷土学習支援事業等を実施した。 ・「立地の資料の専門性を生かす収集保管」に向けて、旧帝釈郷土館収蔵資料の現状確認、企画展示室の常設展示バージョンの刷新等を行った。 ・「地域資源に磨きをかける調査研究」に向けて、石材流通に関する調査研究、御神山・帝釈天信仰の形成過程に関する調査研究等を進めた。 ・「ビジターセンターとしての教育普及」に向けて、回廊展示②の展示替え実施及び回廊展示③の展示替え検討を行うとともに、田森史学講座「地域の古代史を探る」への協力等を行った。 <p>○帝釈峡まほろばの里の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り業務等の管理運営を行った。 ・交流促進センターの施設管理に努め、オートキャンプ場利用業務に対応した。 			
成果・効果			
<p>○当館運営方針及び庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に掲げた目標の達成に向けた事業を推進することができた。</p> <p>○「多様な主体との連携」を進め、地域資源をともに掘り起こして発信することができ、地域づくりに貢献できた。</p>			
課題・対応			
<p>○開館から20年近く経過（令和5年に20周年）したことに伴う施設老朽化が進んでおり、改修・リニューアルに関する計画など、博物館としての機能を維持するための対応が必要である。</p> <p>○旧帝釈郷土館を含めた収蔵品の適正な管理と活用に向けた資料整理が必要である。</p> <p>○まほろばの里の管理について、指定管理の再開を含めた今後のあり方を関係部署と協議する必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
A		継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 エ 庄原市歴史民俗資料館 (火野葦平と母マン資料室、西城・総領収蔵学習室含む)の管理・運営 オ 倉田百三文学館の管理・運営		
取り組み・実績			
<p>○庄原市歴史民俗資料館（火野葦平と母マン資料室・西城・総領 収蔵学習室含む）の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示資料の配置換え・児童向けの説明板等の設置を行い、分かりやすい展示に努めた。 ・寄託資料等の確認及び資料の借用期間延長手続きを行った。 ・学校の課外授業の場として博物館見学の対応を行った。 ・図書館と連携して火野葦平に関する書籍等を紹介し、併せて貸出を行う事で火野文学の興味・関心を高めた。 ・文化講演会との連携事業として、埋蔵文化財講演会「佐田谷・佐田峠墳墓群、甲山古墳」を開催した。(3/26) <p>○倉田百三文学館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄託資料等の確認を行った。 ・学校の課外授業の場として文学館見学の対応を行った。 ・図書館と連携して、倉田百三に関する書籍等を紹介し、併せて貸出を行う事で倉田文学の興味・関心を高めた。 			
成果・効果			
<p>○市内各施設のガイダンス機能を発揮するための展示内容の工夫改善等に努めた。</p> <p>○図書館と連携して倉田百三、火野葦平等のコーナーを設置して紹介する事で、来館者の興味・関心を高めることにつながった。</p>			
課題・対応			
<p>○西城・総領収蔵学習室の資料整理と今後の活用が課題である。体制を整え、展示及びその充実につなげる必要がある。</p> <p>○倉田百三友の会と連携を図りながら、常設展示内容の改善を行う。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 カ 口和郷土資料館の管理・運営		
取り組み・実績			
<p>○口和郷土資料館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に窓枠への防犯、防塵、防風対策及びトイレのバリアフリー化等の改修工事を実施するため計画を策定した。 保有する約2万枚のレコードを歌手別、ジャンル別等に専門家の意見を聞きながら分別し、データベース化前のデータ入力を行った。 令和5年度実施予定の45周年記念イベント（企画展、講演会、ものづくり子ども教室）に向けて関係者と協議を実施し、具体的な内容・期間を決定した。 令和5年度開催予定（令和2年度からコロナ禍により延期）の特別展『蓄音機展』に向け、かつ恒久的に蓄音機を動態展示するため、数十年前の蓄音機の製造元を調べ、資料を作成した。 令和3年11月から月1回実施している映画上映会を引き続き開催し、ホームページ、SNS等で情報発信した。 			
成果・効果			
<p>○施設の防犯対策、安全対策、バリアフリー化等の改修について長期総合計画・実施計画に計上し、令和5年度実施のために予算化することができた。</p> <p>○当館の魅力である動態展示、約2万枚以上あるレコード、映像ソフトのデータベース化に向けてデータ入力やホームページのリニューアル等計画的に行うことができた。</p>			
課題・対応			
○長期的な資料館運営を見据えた体制づくりの継続的な実施が必要である。			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	②連携・啓発事業の展開		
取り組み・実績			
<p>○収蔵資料の出前展示や資料貸出等の活用と整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館・資料館と学校が連携・協力して郷土学習支援事業のメニューを充実させ、多くの児童生徒が体験できる施設、楽しめる施設となるよう取り組んだ。 ・考古資料の有効活用を図るため、庄原市埋蔵文化財センターを拠点として、収蔵資料の収集・保管・活用に取り組んだ。 ・例年の備北丘陵公園たたらイベントに合わせて、西城収蔵学習室の資料を貸し出して活用を図った。また、広島県立歴史博物館や広島県立歴史民俗資料館への展示貸出等を実施した。 <p>○地域・学校等と連携した体験学習や出前授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、バス運行の支援を中心とした放課後子供教室・学校等との連携事業を実施した。 <p>○地域や観光と連携した講座の推進と支援</p> <p>ア 比和自然科学博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮島水族館との連携事業として実施しているペンギンと触れあうイベント（8/21、125人）を行い、子供達が興味関心を引く取り組みを実施した。また、出張講座として宮島水族館を会場に化石講座（6/19、30人）を実施した。 ・備北丘陵公園と連携した公園内での出張展示「比和自然科学博物館から化石たちがやってき!」、庄原駅周辺地区まちづくり協議会と連携した備後庄原駅での出張パネル展示「庄原市立比和自然科学博物館へ行こう!」、備北交通㈱と連携した「夏休みこども乗り放題パス 2022 スタンプラリー」の協力など、他業種との連携事業を展開した。 ・地元の自然史系博物館として市内の小学校に、館長出張授業による総合的な学習の時間の授業支援を行った。 <p>イ 帝釈峡博物展示施設時悠館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「帝釈峡の魅力を引き出す連携啓発」に向けて、帝釈峡遺跡群発掘60周年記念事業へ参画し企画展「縄文人も見た!? 帝釈峡の自然」（10/8～12/25）、記念講演会（計2回）を開催するとともに、記念モニュメントへの製作協力等を行った。 ・時悠館友の会や東城町ふるさと今昔講座において講演を行うとともに、日東粉化工業、仙石庭園と連携し、結晶質石灰岩及び化石・鉱物の展示を行った。 <p>ウ 口和郷土資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月、令和4年4月にリニューアルオープンした町内2つの観光交流施設と連携し、相互間の情報提供を実施した。 ・月1回の音楽会の開催、障害者作業所や社会福祉協議会の交流の場を提供する等、地域社会への参画を行った。 			

成果・効果	
<p>○西城のたたら資料は他施設への貸出が定着しつつある。引き続き色々な分野との提携を行い、資料の活用を図りたい。</p> <p>○地域学習の一環としてバス利用や出前授業等一定の効果があった。</p> <p>○比和自然科学博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校・宮島水族館・備北丘陵公園・庄原駅周辺地区まちづくり協議会・備北交通・広島県など、業種を越えた連携による幅広い事業展開ができた。 ・市民参加型展示企画や館長出張授業などの実施により自然史系博物館としてのノウハウを市民へ還元することができ、合わせて効果的な周知活動が展開できた。 <p>○帝釈峡博物展示施設時悠館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な主体との連携」を進め、地域資源をともに掘り起こして発信することができ、地域づくりに貢献できた。 <p>○口和郷土資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流施設や地域との連携により、効果的に周知啓発を図ることができた。 	
課題・対応	
<p>○長期的な博物館運営を見据えた体制づくりの継続的な実施が必要である。</p>	
事業の成果	方向性
B	継 続

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	①地域スポーツの推進		
取り組み・実績			
<p>○地域のスポーツイベントへの支援</p> <p>第32回庄原市スポーツフェスティバル 6/25～8/31 第17回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会 10/15 第23回ひろしまクロスカントリー大会 8/20 第71回庄原市スター式駅伝大会 12/4 その他、各種スポーツ団体主催の大会、イベント等の支援</p> <p>○スポーツ推進委員活動の推進</p> <p>・スポーツ推進委員は、各地域における活動のほか、各種研修会等へ参加し、各自が資質の向上に努めた。任期：R5.4.1～R7.3.31 委員数40人</p> <p>ファミリー健康体力向上事業 体力測定 10/22（高野体育館）参加者13人 障害者スポーツ支援ボランティア講習会 3/3、3/12（東広島市）</p> <p>○市民スポーツ教室の推進</p> <p>・健康づくりや体力づくり、各種競技の技術力の向上を目的に市民が気軽に参加できるスポーツ機会の提供を行う事業として、庄原市総合体育館の指定管理者である庄原市総合サービス(株)に委託し、継続的に教室を展開していただいた。（テニス教室など、7教室を開催、参加者2,439人）</p> <p>○ニュースポーツ、軽スポーツの普及</p> <p>・気軽にスポーツに親しむことができる機会を提供し、市民相互の交流を深めるとともに健康づくりを図り、生涯スポーツ社会の普及・定着を目的として、総合型地域スポーツクラブ「庄原さくらスポーツクラブ」への委託事業として実施した。（4回 参加者105人）</p> <p>グラウンド・ゴルフ、ペタンクなど6種目について、競技方法の説明、実技指導を行っていただいた。</p>			
成果・効果			
<p>○各地域のスポーツ推進委員は、積極的な研修への参加や地域スポーツ活動に参画し、地域においての継続的な活動を支援している。</p> <p>○市民スポーツ教室は、毎年市民のニーズに合わせて開催されており、好評である。</p>			
課題・対応			
<p>○市民のニーズに応じたスポーツ教室開催は、他の行事等と日程の重複が起らないよう、各団体と横断的な連携を図る必要がある。</p> <p>○スポーツ少年団本部・各支部へ補助金の配分基準・各団の報告の徹底等、引き続き適切な処理・対応の指導を行う必要がある。</p> <p>○スポーツ推進委員の活動について、委員の各地域における位置付けや活動の方向性を明確にする。</p> <p>○部活動の地域移行について協議する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	②スポーツ団体の育成・支援		
取り組み・実績			
<p>○庄原市スポーツ協会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 各主催行事に連携・協力を行った。 補助金：4,590千円（運営費） 第47回広島県民スポーツ大会参加 <p>○庄原市スポーツ少年団の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 各主催行事に連携・協力を行った。 補助金：4,770千円（運営費） 各支部・単位団への運営費補助 第47回広島県民スポーツ大会出場（スポーツ少年団の部） 空手道 11/6、剣道 11/13、卓球 11/19 <p>○スポーツ指導者の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 各スポーツ団体などの有資格者との連携を行った。 			
成果・効果			
<p>○各主催行事に連携・協力をし、地域スポーツの推進に努めた。</p> <p>○各スポーツ団体などの有資格者と連携しながら、指導者の確保に努めた。</p>			
課題・対応			
<p>○各スポーツ団体では、指導者不足や指導者の高齢化が課題となっている。</p> <p>○補助金の適切な執行について、継続して指導・助言を行う。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	③総合型地域スポーツクラブの展開		
取り組み・実績			
<p>○総合型地域スポーツクラブ「庄原さくらスポーツクラブ」、「節分草スポーツクラブ」の支援</p> <p>・庄原さくらスポーツクラブに90千円、総領節分草スポーツクラブに45千円を補助し、ニュースポーツの普及、会議・研修会への情報提供を行っている。会員拡大に向け、回覧文書の作成も行った。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの体験会開催や設立に向けた支援</p> <p>その他の地域においても、クラブの設立が行えるようスポーツ推進委員が体験会を計画するなどの支援を行った。</p>			
成果・効果			
<p>○総合型地域スポーツクラブによるニュースポーツ・軽スポーツの普及活動は、気軽にスポーツに参加できるとして好評である。</p> <p>○「節分草スポーツクラブ」については、自治振興区やスポーツ推進委員と連携して、地域のスポーツ活動を推進している。</p>			
課題・対応			
○既存のスポーツクラブのPRを行うなど、総合型地域スポーツクラブを周知することで、チームの知名度を向上させるとともに、新規会員の獲得を図る必要がある。			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	④競技力向上・ジュニアスポーツの推進		
取り組み・実績			
<p>○レベルアップスポーツ教室の充実 (水泳・陸上競技・バレーボール・スキー・バスケットボール・卓球・サッカー)</p> <p>・各レベルアップ教室を開催した。</p> <p>①陸上 32人 ②水泳指導者派遣 38人 ③水泳 初級 延べ30人 中級 延べ10人 上級 延べ8人 計6回 ④バスケットボール 中止 ⑤バレーボール 中止 ⑥卓球 35人 ⑦スキー 73人 ⑧サッカー 23人</p> <p>○レベルアップ指導者講習会の実施(水泳・陸上)</p> <p>・指導者講習会を行い、指導内容の充実を目指した。(市内小学校教諭対象)</p> <p>①陸上指導者講習会 13人 ②水泳指導者講習会 13人</p> <p>○文化・スポーツ全国大会等出場者への支援</p> <p>・令和4年度の対象者は延べ55人(うち団体3)</p> <p>・夏季壮行式 7/21</p> <p>・冬季激励式 1/30</p> <p>壮行式及び激励式に参加できなかった児童、生徒には保護者を通じて賞賜金を手交した。</p> <p>○庄原市少年少女スポーツ振興会との連携による各種記録会等開催支援</p> <p>・子供達の運動に親しむ資質や能力を育成するため、レベルアップスポーツ教室事業に参画・後援をいただき連携を図った。</p> <p>庄原市レベルアップスポーツ教室への後援 庄原市少年少女陸上記録会・水泳記録会への協力</p> <p>○スポーツ大使金藤理絵氏による水泳教室</p> <p>・水泳指導者派遣事業 6/30 高野小学校 7/1 板橋小学校</p> <p>・レベルアップ水泳教室 7/2 参加者延べ45人</p>			
成果・効果			
<p>○レベルアップスポーツ教室は一部の種目を除き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をとりながらほとんどの種目で実施できた。</p> <p>○全国大会の出場者に関する情報を多方面からの情報も得られるようになってきた。</p> <p>○冬季激励式から、ユーチューブによる録画配信を行っている。</p>			
課題・対応			
<p>○レベルアップスポーツ教室について、子供達のニーズに応じて、種目を検討する必要がある。</p> <p>○文化・スポーツ全国大会等出場者への支援を行うため、広い分野からの情報収集に努める。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	⑤障害者スポーツへの支援		
取り組み・実績			
<p>○各種施設、設備等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツへの支援を行った。また、障害者スポーツの充実に向けて、関係団体等と意見交換を行った。 <p>○指導者、ボランティアスタッフの育成及び活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツイベントを開催した。 <p>出前講座「軽・ニュースポーツを体験しよう」(ユニカール)スポーツ推進委員1人参加 7/15、 「障害者スポーツを体験しよう」(ユニカール、バグジー)スポーツ推進委員1人参加 8/6、庄原市身体障害者連合会主催スポーツ大会(グラウンドゴルフ)スポーツ推進委員5人参加 9/21 (おりづるサポーター養成講習会 スポーツ推進委員1人参加 3/3、障がい者スポーツ指導者研修会スポーツ推進委員2人参加 3/21)</p>			
成果・効果			
<p>○体験会の開催に向け、スポーツ推進委員を中心に、障害者スポーツの活動支援を行う体験会を企画し、体験会への支援を行った。身体障害者連合会と連携して、体験会を行うことができた。</p>			
課題・対応			
<p>○障害者スポーツに必要な備品等の計画的な整備や、障害のある方が安心してスポーツを楽しむことができる環境の整備について、検討していく必要がある。さらに継続的かつ計画的に障害者スポーツ指導員やボランティアなどの人材育成を図る必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)スポーツ環境の充実		
主な取り組み	①社会体育施設の利用促進		
取り組み・実績			
<p>○体育館、総合運動公園、屋内外体育施設等の管理・運営（指定管理・直営管理）及び利用促進</p> <p>【指定管理施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原市総合体育館、庄原市テニスコート、庄原市多目的広場、庄原市水泳プール、庄原市運動広場、庄原市スポーツ広場 指定管理者：庄原市総合サービス(株) 51,520千円 ・口和スポーツセンター 指定管理者：庄原市口和スポーツセンター管理組合 243千円 ・西城総合運動公園(道後山高原クロカンパーク) 指定管理者：(有)道後山高原サービス 25,580千円 <p>【直営管理】（各種スポーツ施設・学校体育施設開放事業を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比和総合運動公園、比和体育館 1,806千円 <p>○社会体育施設維持整備方針に基づく各施設の計画的な維持修繕、改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内には、多くの施設が存在し、いずれも老朽化が進行している。各施設の維持管理について、一定の方針を定め、継続的・計画的に修繕や更新を実施した。 <p>【修繕・工事・委託】（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西城温水プール チラー更新修繕工事 4,961千円 空調設備更新工事 17,855千円 <p>○水夢フェスティバル水泳記録会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原市少年少女水泳記録会 7月29日、水夢フェスティバル水泳大会 中止 ・各種教室の実施状況 ベビースイミング教室（17回）、幼児スイミング教室（16回） 			
成果・効果			
<p>○指定管理施設については、指定管理者により、適正な管理運営が行われている。直営施設についても、定期的な点検や確認を行い、必要に応じて修繕を行う等適正に管理している。</p> <p>○各施設とも老朽化が進む中、定期的な点検・確認を行い、必要に応じて修繕や更新を行うことで、適正な管理に努めている。</p>			
課題・対応			
<p>○管理運営方法については、引き続き各々の施設の特徴や現状、利用者増進の取り組み等を考慮し、「直営」「指定管理」の選択を行う。</p> <p>○老朽化が進行している施設については、計画的に修繕等を行っていくが、「庄原市社会体育施設維持整備方針」に基づき、管理運営等の方向性を含め、今後のあり方を検討する必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)スポーツ環境の充実		
主な取り組み	②学校体育施設の活用		
取り組み・実績			
<p>○市内小中学校の体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校の屋内体育施設、屋外体育施設を学校運営に支障のない範囲で市民に供するため開放事業を実施した。 施設使用後は用具や施設を除菌すること、使用日誌へ連絡先を記入した名簿を添付してもらうことなど、できる限り感染防止の対策を行った。 <p>○県立学校体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の県立学校体育施設を学校運営に支障のない範囲で市民に供するため、各学校と利用契約を締結し、開放事業を実施できる準備は行っていたが、利用がなかった。 広島県立庄原実業高等学校 広島県立庄原特別支援学校 広島県立東城高等学校 			
成果・効果			
<p>○市内小中学校体育施設開放事業は、地域に密着したスポーツ活動拠点施設として位置付いており、利用者も多い。子供から大人まで様々なスポーツを行うため利用されている。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業では、新型コロナウイルス感染症のため、使用実績がほとんどない状況であった。</p>			
課題・対応			
<p>○市内小中学校の体育施設開放事業については、今後も円滑に利用していただけるよう、各校と協議を行っていく。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業については、地域住民が地域行事等で利用する例もあるため、今後も広島県と契約し、対象施設や利用方法等において、県ホームページにて周知を図る。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2) スポーツ環境の充実		
主な取り組み	③学校・家庭・地域のネットワークづくり		
取り組み・実績			
<p>○庄原市スポーツ少年団、自治振興区及び社会教育関係団体相互の連携による子供達のスポーツ参加促進へ取り組んだ。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ等による地域全体を巻き込んだスポーツ活動への取り組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から要請された出前講座。（東自治振興区） ・小学校から要請された出前講座。（東小学校） ・さくらスポーツクラブがニュースポーツ体験会を実施した。 			
成果・効果			
<p>○学校、自治振興区や女性会から出前講座の声がかかるようになってきた。総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員も一緒になりニュースポーツの普及に取り組むことができた。</p>			
課題・対応			
<p>○誰でもできるニュースポーツの体験会をスポーツ推進委員等と連携して企画していく必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)教育風土の醸成		
主な取り組み	①地域社会に貢献できる人材の育成		
取り組み・実績			
<p>○市内全校で学校運営協議会制度を導入し、地域とともにある学校づくりを推進した。</p> <p>○各学校の教育内容に係る取り組みについて、年度当初に学校運営協議会で熟議し、年度末には自己評価を実施した。</p> <p>○各学校の総合的な学習の時間において、「地域を知る」「地域を誇りに思う」「地域に貢献する」などをテーマにした学習を行っている。</p>			
成果・効果			
<p>○学校運営協議会の場で児童生徒の意見を取り上げる、学校と地域が協力して地域人材の発掘・活用を行うなど、各校の特色を生かした活動が行われた。</p> <p>○各学校において、総合的な学習の時間の年間指導計画及び単元づくりの改善・充実が進められている。</p> <p>○広島県児童生徒学習意識等調査（小学5年生・中学2年生）において、小学生の93.5%、中学生の83.1%が「自分の住んでいる地域が好き」と答えている。</p>			
課題・対応			
<p>○学校運営協議会の取り組みが、従前の学校評議員会、学校関係者評価委員会と変わらない学校がある。市主催研修会において先進的な取り組みを紹介するなどして、各校の学校運営協議会の取り組みを一層推進・充実させていく必要がある。</p> <p>○各校での総合的な学習の時間において、地域と連携を図りながら、「地域を知る」学習から「地域を誇りに思う」「地域に貢献する」気持ちを醸成する学習へと、発達段階に応じながら進めていく。</p> <p>○地域の方との交流や行事への積極的参加を通して、より一層地域への理解を深めるようにする。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)教育風土の醸成		
主な取り組み	②地域理解を深める教育活動の推進		
取り組み・実績			
<p>○学校や地域の教育活動等の公開の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「庄原市教育フォーラム」は、3年ぶりに10/22に開催した。「庄原市中学校合唱コンクール」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。 ・市ホームページの教育長メッセージを毎月1日に更新し、教育への関心を啓発した。特に家庭での過ごし方について具体的に取り組みを提案した。 ・市主催研修会や行事を市ホームページに掲載し、教育活動への理解を促進した。 			
成果・効果			
<p>○「庄原市教育フォーラム」は、児童生徒発表や講演を通して、情報化社会における学校教育・家庭教育の在り方などについて地域・家庭・学校が共に考える機会となった。</p> <p>○市主催研修や行事など、終了後、速やかに市ホームページへ掲載している。</p>			
課題・対応			
<p>○「庄原市教育フォーラム」について、次年度、今日的課題に対応する内容で実施できるよう準備を進めていく。</p> <p>○市ホームページに教育長のメッセージや主催研修などの様子を掲載していることを周知し、閲覧者を増やす。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		
主な取り組み	①家庭の教育力の向上		
取り組み・実績			
<p>○子育てに関する学習機会や情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親の力をまなびあう学習プログラム」を活用した参加型講座の開催 講座の実施（全1回） 2/11 庄原市田園文化センター 研修等（三次市教育委員会主催ファシリテーター養成講座全2回） 10/5、10/12 みよしまちづくりセンター <p>○家庭教育に関する講座や講演会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが地域課題の解決に向けた活動に結びつけていく力を醸成するため、家庭・地域の教育力を高める事業を、自治振興区を中心に展開した。 年間開催16事業 参加者331人 <p>○10月3日、市PTA連合会の役員を対象に「これからの学校教育」と題して教育長が講演を行った。</p> <p>○1月12日、市PTA連合会の役員を対象に「子供達の実態から成長していること、課題となっていること」について懇談会を開催した。</p>			
成果・効果			
<p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、講座の開催が例年に比べて減少した。</p> <p>○自治振興区を中心に、子供の自主性を育てる事業や親子の学びにつながる事業などに取り組んでいる。</p> <p>○講演等を通して、PTAに家庭教育の重要性について伝え、充実を促すことができた。</p>			
課題・対応			
<p>○ファシリテーターの研修会への参加や連絡会議の開催により、情報交換やスキルアップを図る。</p> <p>○実施希望団体も固定化していることから、事業PRが必要である。</p> <p>○子供と保護者が一緒に参加し、家庭教育に結びつける事業の実施を呼びかける必要がある。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		
主な取り組み	②地域の教育力の向上		
取り組み・実績			
<p>○地域社会全体で次代を担う健全な子供を育てる取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力等の地域課題に対応した学習活動の推進 住民自らが地域課題の解決に向けた活動に結びつけていく力を醸成するため、子供から高齢者まで幅広い世代の住民を巻き込んだ事業を、自治振興区を中心に展開した（年間開催 31 事業 参加者 729 人）。 ・学校・家庭・地域等の連携による世代間交流事業や放課後子供教室の実施 放課後児童クラブの補完として安全な居場所の確保のため、自治振興区に委託し、放課後子供教室を7教室開設（峰田・高・山内・八幡・粟田・総領・比和）した。 ・地域住民による学習支援「地域未来塾」の開設 自治振興区へ運営を委託することにより4教室（小奴可・上高・比和・総領）に、9クラスを開設した。 ・「読書」をキーワードとした家庭教育支援事業の推進、読書ボランティア、自治振興区、市内書店や学校司書等による家庭教育支援チームの活動支援 家庭教育支援チームの活動支援に向けた検討を行ったが、会議を開催することができなかった。 			
成果・効果			
<p>○自治振興区を中心に、子供の自主性を育てる事業や親子の学びにつながる事業などに取り組んでいる。</p> <p>○本市の放課後子供対策として、全ての学校区に放課後児童クラブ又は放課後子供教室を開設し、放課後の児童の安全な活動拠点を確保している。</p> <p>○地域の教育力向上と活性化・読書ボランティアによる読み聞かせにより、身近な地域住民による読書活動の推進が行われた。</p>			
課題・対応			
<p>○子供と保護者が一緒に参加し、家庭教育に結びつける事業の実施を呼びかける必要がある。</p> <p>○自治振興区による放課後児童クラブの利用児童も参加できる体験活動等の充実を図る。</p> <p>○家庭教育支援チームのあり方等について、検討が必要である。</p>			
事業の成果		方向性	
B		拡大継続	

家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		
主な取り組み	③放課後の子供の育成		
取り組み・実績			
<p>○放課後子供教室の充実と放課後児童クラブとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原市放課後子ども総合プランに基づく学校の余裕教室を活用した開設は学校施設管理の問題から開設が困難なため、プランの趣旨に沿った子供に対する体験学習（放課後児童クラブの利用児童が児童クラブ開設時間内に体験活動等ができる）の実施について、引き続き児童福祉課と連携して開設に向けて取り組んでいる。 ・「放課後子ども総合プラン」放課後子供教室の整備計画 令和6年度目標：13カ所 ・放課後子供教室開設状況 令和4年度：7カ所（うち連携型：比和） 			
成果・効果			
<p>○安全・安心な活動拠点として、放課後子供教室では毎月100名程度の利用者がいる。放課後児童クラブの補完型だけではなく、子供の体験教室として実施する自治振興区もある。</p>			
課題・対応			
<p>○自治振興区が放課後児童クラブの利用児童も参加できる体験活動等の充実を図り、他の事業との連携を兼ねた開設に向け、情報収集を行う。</p> <p>○実施主体である自治振興区から配慮の必要な児童への対応について相談がある。学校や教育指導課等と連携し対応する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継続	

Ⅲ 教育委員会委員の活動状況

1 庄原市教育委員会（令和4年7月1日現在）

役職名	氏名	任期
教育長	牧原 明人	令和3年7月1日～令和6年6月30日
委員 教育長職務代理者	横山 和明	令和2年4月29日～令和6年4月28日
委員	立花 有佐	令和3年4月29日～令和7年4月28日
委員	捻金 宏昭	令和4年4月1日～令和5年4月28日
委員	渡部 要	令和4年7月1日～令和8年6月30日

2 教育委員会議の開催状況

月日	会議名	概要
4月21日	令和4年第6回教育委員会議	議案3件、報告3件、協議0件
5月20日	令和4年第7回教育委員会議	議案2件、報告0件、協議0件
5月25日	令和4年教育委員会議（書面表決）	議案1件、報告0件、協議0件
6月17日	令和4年第8回教育委員会議	議案8件、報告0件、協議0件
7月15日	令和4年第9回教育委員会議	議案1件、報告1件、協議1件
8月19日	令和4年第10回教育委員会議	議案3件、報告0件、協議0件
9月16日	令和4年第11回教育委員会議	議案2件、報告1件、協議0件
10月19日	令和4年第12回教育委員会議	議案1件、報告3件、協議1件
11月21日	令和4年第13回教育委員会議	議案5件、報告0件、協議0件
12月16日	令和4年第14回教育委員会議	議案1件、報告0件、協議0件
1月20日	令和5年第1回教育委員会議	議案3件、報告2件、協議0件
1月30日	令和5年教育委員会議（書面表決）	議案1件、報告0件、協議0件
2月17日	令和5年第2回教育委員会議	議案2件、報告0件、協議1件
3月10日	令和5年第3回教育委員会議	議案6件、報告2件、協議0件
3月23日	令和5年第4回教育委員会議	議案8件、報告2件、協議0件

3 教育委員会議の議決案件及び主な報告・協議事項

令和4年（4月～12月）

開催番号	議案等	議 題 名	備考
第6回	第20号	庄原市奨学金貸付審査会委員の委嘱について	承認
	第21号	庄原市就学指導委員会委員の委嘱について	承認
	第22号	令和4年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	報告	令和4年度教育委員会会計年度任用職員の任用について	—
	報告	令和4年度各課・室事務分掌について	—
	報告	令和4年度における重要課題及び留意事項について	—
第7回	第23号	令和4年度庄原市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会所管分)について	同意
	第25号	庄原市学校保健会委員の委嘱について	承認
書面表決	第24号	庄原市体育館設置及び管理条例の一部改正について	同意
第8回	第26号	庄原市教育事務評価検討委員の委嘱について	承認
	第27号	庄原市学校保健会委員の委嘱について	承認
	第28号	庄原市社会教育委員の委嘱について	承認
	第29号	庄原市芸術文化振興審議会委員の委嘱について	承認
	第30号	庄原市博物館・資料館運営協議会委員の委嘱について	承認
	第31号	庄原市図書館協議会委員の委嘱について	承認
	第32号	令和4年度庄原市一般会計補正予算(第4号)(教育委員会所管分)について	同意
第9回	第33号	令和5年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書のうち学校教育法附則第9条第1項の規定による図書に係る採択基本方針について	承認
	第34号	庄原市教育事務評価検討委員の委嘱について	承認
	協議 報告	令和3年度教育行政施策の方針に基づく点検・評価について 市議会6月定例会一般質問の概要(教育委員会関係)について	— —
第10回	第35号	令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について	承認
	第36号	令和4年度庄原市一般会計補正予算(第5号)(教育委員会所管分)について	同意
	第37号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
第11回	第38号	庄原市私立幼稚園預かり保育利用に係る補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	可決
	第39号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	報告	令和4年度全国学力・学習状況調査及び広島県学習意識等の結果について	—
第12回	第40号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	報告	市議会9月定例会一般質問の概要(教育委員会関係)について	—
	報告	広島県公立学校教職員人事異動方針について	—
	報告 協議	令和4年度市政懇談会について 市内県立学校訪問について	— —
第13回	第41号	教育委員会所管施設にかかる指定管理者の指定について	同意
	第42号	庄原市民会館設置及び管理条例の一部改正について	同意
	第43号	令和4年度庄原市一般会計補正予算(第8号)(教育委員会所管分)について	同意
	第44号	令和4年度庄原市一般会計補正予算(第9号)(教育委員会所管分)について	同意
	第45号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
第14回	第46号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定

令和5年（1月～3月）

開催番号	議案等	議 題 名	備考
第1回	第1号	庄原市教育支援委員会設置規則について	可決
	第2号	庄原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	同意
	第3号	庄原市博物館・資料館運営協議会設置条例及び庄原市博物館設置及び管理条例の一部改正について	同意
	報告	市議会12月定例会一般質問の概要（教育委員会関係）について	—
	報告	令和5年度会計年度任用職員の任用について	—
書面表決	第4号	教育委員会所管施設にかかる指定管理者の指定について	同意
第2回	第5号	令和5年度庄原市一般会計当初予算（教育委員会所管分）について	同意
	第6号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	協議	令和5年度教育行政施策の方針案について	—
第3回	第7号	令和5年度教育行政施策の方針案について	承認
	第8号	庄原市教員住宅管理規則の一部改正について	可決
	第9号	庄原市立比和自然科学博物館名誉館長設置規程の廃止について	可決
	第10号	令和4年度庄原市一般会計補正予算(第11号)(教育委員会所管分)について	同意
	第11号	令和5年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	第12号	教職員の人事について	承認
	報告	債権の放棄について	—
報告	損害賠償額の決定について	—	
第4回	第13号	庄原市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部改正について	可決
	第14号	庄原市教育委員会公印規程の一部改正について	可決
	第15号	庄原市学校職員服務規程の一部改正について	可決
	第16号	庄原市民会館設置及び管理条例施行規則の一部改正について	可決
	第17号	庄原市指定文化財の指定解除について	承認
	第18号	庄原市スポーツ推進委員の委嘱について	承認
	第19号	庄原市人権教育推進委員の委嘱について	承認
	第20号	庄原市学校運営協議会委員の委嘱について	承認
	報告	市議会3月定例会一般質問の概要（教育委員会関係）について	—
	報告	令和5年4月1日付け人事異動内示資料（教育委員会関係）について	—

4 教育委員会議以外の活動状況

【教育総務課】

開催日	行事名等	活動内容
4月15日	広島県市町教育長会議	県教委主要事業説明他
4月26日	広島県都市教育長会春季総会（オンライン）	県教委等との意見交換他
5月12日～13日	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会〔山口市〕	実践発表、記念公演、視察研修
7月28日	全国市町村教育委員研究協議会（オンライン）	実践発表、グループ協議
8月5日	令和3年度教育事務点検評価に関する意見交換会	教育事務評価検討委員との意見交換
10月7日	広島県都市教育長会秋季総会〔大竹市〕	授業参観、学校施設見学、県教委等との意見交換他
10月25日	広島県女性教育委員グループ研修会（広島叡智学園）	授業参観、意見交流
10月31日～11月1日	市町村教育委員会研究協議会（西日本ブロック）〔長崎市〕	基調講演、パネルディスカッション、事例発表、研究協議
11月4日・10日 24日・25日	市内県立学校視察 （庄原格致高校、東城高校、庄原特別支援学校、庄原実業高校、西城紫水高校）	授業参観、学校施設見学、意見交換等
11月21日	教育委員行政視察（堀江家住宅・荒木家住宅）	施設見学
1月12日	市PTA連合会役員との懇談	これからの学校教育
2月2日	広島県市町教育長会議	県教委等との意見交換他
2月3日	広島県市町教育委員会教育委員研修会	講話、講演
3月23日	庄原市総合教育会議	市長との意見交換

【教育指導課】

開催日	行事名等	活動内容
4月7日	市内中学校入学式	教育委員会告辞
4月22日～5月17日	庄原市教育委員会事務局小学校・中学校訪問	授業参観、施設見学、意見交換等
5月22日～6月5日	市内小学校・中学校春季運動会（小学校15校、中学校7校）	参観
9月11日～10月29日	市内小学校・中学校秋季運動会（小学校15校、中学校7校）	参観
9月27日～1月24日	市内小学校・中学校研究会（小学校15校、中学校7校）	研究会視察
10月22日	庄原市教育フォーラム	中学生意見発表等、講演
3月8日	市内中学校卒業証書授与式	教育委員会告辞
3月23日	市内小学校卒業証書授与式	教育委員会告辞

【生涯学習課】

開催日	行事名等	活動内容
8月15日	庄原市二十歳を祝う会	式典
8月20日	第23回ひろしまクロスカントリー大会	参観
10月15日	第17回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会	参観
12月4日	第71回庄原市スター式駅伝大会	参観
2月17日	庄原市民会館大規模改修内装視察	施設見学

IV 教育事務評価検討委員の意見

1 庄原市教育事務評価検討委員

氏名	所属	委嘱区分
倉石 憲良	庄原市民生委員児童委員協議会	学校教育関係者
松苗 富江	青少年育成庄原市民会議	学校教育関係者
坂 綾	庄原市PTA連合会	学校教育関係者
松木 悦子	庄原市社会教育委員	生涯学習関係者
藤原 二三幸	庄原市芸術文化振興審議会	生涯学習関係者
藤井 皇造	庄原市スポーツ推進審議会	生涯学習関係者
河村 和也	広島県公立大学法人 県立広島大学	学識経験を有する者

2 点検及び評価の結果に関する主な意見

(1) 学校教育

○ 7・8ページ「読書活動の推進」

読書活動の推進における取り組み継続の成果として、庄原小学校が子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞したことは、大変に素晴らしいことであると評価する。

課題に学校図書を整備が急務とあり、計画的に進めていただきたい。

○ 9ページ「外国語教育（活動）の推進」

外国語教育に力を入れた取り組みの成果として、子供達からイングリッシュ・キャンプや英語のイベントにまた参加したいという肯定的なアンケート回答が94.1%もあったとある。子供達の評価を踏まえ、今後も力を入れて取り組んでいただきたい。

○ 9ページ「外国語教育（活動）の推進」

学校教育の現場は、どうしても英語が中心となりがちだが、課題のところ、英語に絞り込むことがなく、学習指導要領を踏まえ「言語活動」という表現にして文章化されたことに大変うれしく思う。

○ 11ページ「生徒指導の充実」

不登校児童生徒数が増加傾向にあることが課題となっているが、中学校卒業後の進路が心配される。中学校在籍時の取り組みの強化について、引き続きお願いしたい。

(2) 生涯学習

- 34 ページ「人権教育の推進」

人権啓発用DVDについて、自治振興区において広く活用し、地域での視聴や研修会に役立てていただきたい。
- 36 ページ「自治振興区における生涯学習の推進」

生涯学習活動について、新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、計画どおりとはならなかったかもしれないが、感染拡大に注意し、工夫しながら事業を行った自治振興区もあることを承知いただきたい。
- 36 ページ「自治振興区における生涯学習の推進」

地域のサークル会員も高齢化しており、今後、生涯学習の活動が難しくなることを危惧している。
- 39 ページ「図書館機能の充実」

保護者の立場から子供に本を読ませたいと思い、図書館を利用することが増えた。絵本や小学生向けの児童書はかなり種類があるが、中学生や小学校高学年向けの本が少ないように思う。また、薦めたい本を探しにくいように感じている。図書の購入割合の検討や本を探しやすい工夫をお願いしたい。
- 39 ページ「図書館機能の充実」

令和4年度も県立広島大学の所蔵図書を庄原市に贈呈させていただいた。活用いただき感謝している。今年度も連携して図書の贈呈について協議させていただきたい。

(3) その他

- 後継者不足について

各地域やスポーツ、芸術など全ての面での後継者不足が問題となっている。スポーツ、文化活動など、めざす目標を高くして、取り組みの質を向上させていくと活動の輪が広がっていくのではないかと。また、市や各団体においては、将来、興味関心を持って新たに活動したいと思う方のために、継承すべき技術の映像化など、資料や記録を残しておくことが必要ではないかと。
- 学校との連携について

児童委員など子供に関わる身近な相談者に、学校から良い情報はよく入ってきているが、子供の課題や困っていることなどについては、家庭環境や背景も考慮されていることもあり、伝わってこない現状があると感じている。課題などについてもっと連携もしていくとよいのではないかと。